

令和4年度

運動年鑑



小笠中学校体育連盟

目次

はじめに	小笠中体連会長 石山 近	2
令和4年度を振り返って	理事長 岡本 健志	3
小笠中学校体育連盟規約		4
小笠中学校体育連盟表彰規定		6
小笠中学校体育連盟申し合わせ事項		8
令和4年度 小笠中学校体育連盟 役員一覧表		9
令和4年度 小笠中学校体育連盟 部活動顧問一覧表		10
令和4年度 小笠中学校体育連盟 競技別大会予定表		11
小笠中学校陸上競技大会記録		12
小笠中学校水泳競技大会記録		13
令和4年度 小笠中学校総合体育大会 総合杯 結果		14
令和4年度 小笠中学校総合体育大会 総合杯 得点表		15
令和4年度 グッドマナー賞		16
令和4年度 生徒奨励賞・顧問功労賞一覧		17
令和4年度 小笠中学校新人総合体育大会 結果		19
バレーボール (男女)		20
卓 球 (男女)		25
柔 道		28
陸上競技		29
バスケットボール (男女)		33
サッカー		37
ソフトボール		41
軟式野球		44
ソフトテニス (男女)		47
剣 道		53
水 泳		56
小笠中学校体育連盟 歴代役員一覧表		60
小笠中学校総合体育大会 年度別優勝校一覧表		61

表紙絵 (掛川市立西中学校 山本 優菜)

裏紙絵 (掛川市立西中学校 塩田 麻央)

はじめに

日ごろより、小笠中学校体育連盟の活動に多大なる御理解と御協力をいただき、ありがとうございます。

早いもので、今年も運動年鑑を発刊する時期となりました。

本年度は、小笠中学校総合体育大会、小笠中学校新人総合体育大会、その他中体連の諸行事を、3年ぶりにほぼ例年通り行うことができました。

令和2年度には中学校総合体育大会が、令和3年度には小笠中学校新人総合体育大会が中止となる「特別な年」を経験することとなってしまいましたが、そんな中でも、目標をもち決してあきらめずひたむきに部活動に取り組んだ生徒たちと、それを励まし支え続けてくださった保護者の皆様の姿がありました。本年度、小笠中体連に関わってくださった全ての生徒や保護者の皆様に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

一方で、「中体連大会へのクラブチーム参加」や「学校部活動の地域部活動への移行」など、中体連や部活動を取り巻く状況は大きく変わろうとしています。小笠中学校体育連盟は、その規約に「小笠中学校体育の健全な発展を図ることを目的とする。」と掲げています。「学級や学年を離れた集団の中で、共通の目標に向かって互いに協力し合い高めあうことで、生徒の自主性や協調性、責任感や連帯感を育成する」ことを目指し、また大会運営においては生徒と教職員の命と安全を第一に考え、今後も活動を行っていきます。

今後とも、皆様の御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、本年度の本連盟の活動を支えていただいた各中学校長・教職員の皆様に心から感謝申し上げます。また、掛川市・菊川市・御前崎市・常葉大付属菊川中学校には、例年と変わらぬ物心両面にわたる全面的な御支援いただきました。紙面をお借りして、心よりお礼を申し上げます。

令和5年1月16日

小笠中学校体育連盟
会長 石山 近

令和4年度を振り返って

令和4年度の小笠中学校体育連盟は、会長3年目の石山近校長のもと、大会運営や競技力向上事業などに取り組み、成果を残すことができました。過去2年間のコロナ対策を糧に、3年ぶりに小笠中学校総合体育大会と小笠中学校新人総合体育大会の両方の大会を実施することができました。3年生の締めくくりの大会、2年生の始まりの大会を実施することができ、充実した生徒の姿や成長する姿を多く見ることができました。

夏の総合体育大会では、6月18日の水泳大会を皮切りに大会がスタートしました。3年間の集大成の大会ということもあり、どの競技でも、最後の一秒、一球まで諦めずに頑張る姿は、見る者を感動させ、生徒の成長を伺うことができました。男子の部では、バレーボールの部・サッカーの部優勝、陸上競技の部・剣道の部準優勝、野球の部・バスケットボールの部3位の御前崎市立浜岡中学校が2年連続で総合杯を獲得しました。女子の部では、陸上競技の部・バスケットボールの部・ソフトテニスの部優勝の掛川市立東中学校が17年ぶりに総合杯を獲得しました。グッドマナー賞では、10校が受賞しました。勝つことだけを目的にしているのではなく、部活動を通しての人間育成に日々取り組まれている指導の賜です。どの大会に行っても恥じない小笠地区に尽力いただいたこと、改めて感謝いたします。

そして、地区大会を勝ち抜いた選手の活躍も光りました。常葉大学附属菊川中学校バドミントン部が県大会を制し、東海大会へ駒を進め健闘しました。個人では、柔道、陸上競技、水泳の選手が県大会で優秀な結果を残し、東海大会でも高い能力を発揮し活躍しました。中でも、掛川市立北中学校の鈴木悠人さんと菊川市立菊川西中学校の梁瀬伊織さん、掛川市立東中学校の松岡典子さんは、静岡県陸上競技大会で全国大会の標準記録を突破し、全国大会に出場し、静岡県の代表として堂々と活躍しました。団体、個人共に日頃の練習の成果が発揮された総合体育大会であったと嬉しく思います。

また、野球と陸上の2競技が小笠支部で県大会を開催しました。大会を成功させるために、杉山野球部長、鈴木達陸上競技部長を中心に、各競技部が団結して取り組み、大会を滞りなく開催していただきました。小笠の先生方の結束力を強く感じました。ありがとうございました。

昨今では、「働き方改革」「部活動ガイドライン」など部活動に対する考え方も大きく変化しており、より良い運営方法を考えていかななくてはなりません。加えて、部活動の地域移行やクラブチームの大会参加など、部活動は大きな転換期を迎えています。しかし、部活動や競技を通して、健全な心と身体を培い、豊かな人間性を育んでいくという大きな意義は変わりません。夢や目標に向かって邁進する中学生の支えとなるよう、尽力していきたいと思えます。

最後になりましたが、掛川市、菊川市、御前崎市、常葉大学附属菊川中学校、中体連理事、競技部長の御協力を頂き、1年間の事業を実施することができました。コロナ渦でも大会や試合が無事開催できたことを深く感謝申し上げます。

令和5年1月16日

小笠中学校体育連盟
理事長 岡本 健志

小笠中学校体育連盟規約

第1章 総則

- (名称)
第1条 本連盟は、小笠中学校体育連盟という。
- (事務局)
第2条 本連盟は、原則として事務局を会長の指定する学校におく。
- (目的)
第3条 本連盟は、小笠中学校体育の健全な発展を図ることを目的とする。
- (事業)
第4条 本連盟は、前条の目的を達成するために下記の事業を行なう。
(1) 各種大会の開催、および講習会、研修会の開催
(2) 資料の収集、調査研究
(3) その他本連盟の目的達成に必要な事業

第2章 組織

- (組織)
第5条 本連盟は、掛川市・菊川市・御前崎市・御前崎市牧之原市の中学校及び常葉大学附属菊川中学校が加盟してこれを組織する。

第3章 役員

- (役員の種類及び選任)
第6条
1 本連盟は、次の役員をおく。
(1) 会長1名
(2) 副会長若干名
(3) 理事長1名
(4) 副理事長(庶務)1名
(5) 南部主任
(6) 北部主任
(7) 理事
(8) 編集委員若干名
(9) 研修委員若干名
(10) 会計2名
(11) 会計監査2名
(12) 運動年鑑編集委員長1名
2 正副会長は校長、教頭会の推薦による。
3 理事長、副理事長、会計、運動年鑑編集委員長は理事会で選任し、会長が委嘱する。
4 南北主任は、南部、北部の理事の推薦による。
5 原則として理事は、掛川市、菊川市、御前崎市、御前崎市牧之原市の各中学校と常葉大学附属菊川中学校の体育担当教員の代表1名とする。
6 編集委員は、理事長、副理事長、会計、編集委員長、南北主任等で構成し、会長が委嘱する。
7 研修委員は理事会で選出し、会長が委嘱する。
8 会計監査2名は、校長より1名、教員より1名とし、理事会で選出する。
9 本連盟に顧問をおくことができる。顧問は理事会の推薦による。

- (役員の仕事)
第7条 役員の仕事は次のとおりとする。
(1) 会長は、本連盟を代表し、会務一切を統領する。
(2) 副会長は会長を補佐して会務を掌理し、会長に事故あるときは、その代理を務める。
(3) 理事長、副理事長は会長の指示を受けて、会務一切の立案と処理にあたる。
(4) 理事は理事会を構成し、組織し、事業その他重要な事項について審議する。
(5) 会計は、本連盟の会計の事務を行う。
(6) 会計監査は、随時本連盟の会計を監査する。
(7) 運動年鑑編集委員長は運動年鑑編集において立案と処理にあたる。
(8) 顧問は、会長の諮問に応じて、重要事項に関し建議する。

- (役員の仕事)
第8条 役員の仕事は1ヶ年とする。但し再任を妨げない。補欠役員の仕事は前任者の残留期間とする。

第4章 会議

(会議の種別)

第9条 本連盟の会議は、理事会とする。

(会議の構成)

第10条 理事会は、本連盟の役員をもって構成する。

(会議の招集)

第11条 理事会は、会長が招集する。ただし、会長が必要と認めた時には臨時に開くことができる。

(会議に付議する事項)

第12条 理事会は次の事項を付議する。

- (1) 組織の決定
- (2) 事業の審議決定
- (3) 予算の議決、決算の承認
- (4) 規約の改正
- (5) その他重要事項の審議決定

第5章 競技部

(競技部)

第13条

- 1 本連盟には、理事会のもと次の競技部をおく。
バレーボール 卓球 柔道 陸上 バスケットボール サッカー
ソフトボール 軟式野球 ソフトテニス 剣道 水泳
(体操・新体操・バドミントン)
- 2 競技部にはそれぞれ正副部長をおく。ただし、正副部長をおかない場合もある。正副部長の選出は、理事会で推薦し会長が委嘱する。
- 3 各競技部は年間計画に基づき事業を実施し、運営の任にあたる。

第6章 会計

(経費)

第14条 本連盟の会計は、負担金及びその他をもってあてる。

(事業年度)

第15条 本連盟の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

第7章 規約の変更

(規約の変更)

第16条 本連盟の規約は、理事会の承認を経なくては変更することはできない。

第8章 雑則

第17条 本連盟規約の施行に必要な細則は別に定める。

附則

- 1 本規約は、昭和50年4月1日から施行する。
- 2 本規約は、昭和56年4月1日一部修正。
- 3 本規約は、平成5年4月1日一部修正。
- 4 本規約は、平成11年4月1日一部修正。
- 5 本規約は、平成14年4月10日一部追加。
- 6 本規約は、平成15年4月10日一部追加。
- 7 本規約は、平成19年4月9日から施行する。
- 8 本規約は、平成24年4月1日から施行する。
- 9 本規約は、平成29年4月1日一部修正。
- 10 本規約は、平成31年4月15日一部修正。

細則

- 1 感謝状ならびに記念品贈呈に関する細則
 - (1) 本連盟は、連盟発展のために尽力した者に感謝状ならびに記念品を贈呈する。
 - (2) 贈呈候補者の調査と推薦に関しては、会長がその任にあたり、贈呈該当者は理事会の議を経て決定する。
 - (3) 会長、副会長、理事長を務めたものに対して感謝状を贈呈する。また、競技部長を3年務めたものに対して感謝状を贈呈する。表彰はその任を退いた時とする。県競技部長および西部競技部長を務めた場合、特別表彰もある。
 - (4) 感謝状及び記念品は顧問者会席上で贈呈する。
- 2 競技の参加及び複数の競技参加に関する細則
 - (1) 県中体連の「夏季大会参加基準」に準ずる。
 - (2) 複数種目に参加する場合には、継続的に練習を行っている者に限る。
 - (3) 県大会への出場資格を得た者は必ず県大会へ参加することを原則とする。しかし、支部大会充実のための種目の事情などにより、要請があれば例外を認める。

小笠中学校体育連盟表彰規定

1 総合体育大会の表彰

野球・ソフト・バスケット・バレー・テニス・サッカー・卓球・剣道・柔道 について

(1) 団体表彰

- ア 1位チームに優勝旗、カップ、トロフィーのいずれかを与える。
- イ 準優勝チームに楯、カップ、トロフィーのいずれかを与える。(柔道は除く)
- ウ 1位から3位まで、チーム賞状(合同チームには学校数分)と個人賞状を与える。(1位にはメダルも与える)個人賞状の数は、部ごとに次のように定める。

野球25人・ソフト25人・バスケット15人・バレー18人
ソフトテニス8人・サッカー30人・卓球10人・剣道7人・柔道7人

- エ 県大会出場のために順位決定戦を行っても、両チームとも3位とする。
- オ 出場総参加チームが5チーム以上の場合、上記の規定通りとする。
4チームの場合は、2位までを該当とする。
3チームの場合は、1位だけを該当とする。
これは、新人戦も同様とする。
- カ 大会前に団体としてエントリーすれば、総合杯得点に加点する。

(2) 個人戦表彰

- ア 1位から8位まで賞状を与える。ただし、出場人数が10名以下の場合には3位までとする。3名以下の場合は1位のみとする。
- イ 1位にはメダルも与える。(一人が複数種目において優勝した場合は1個限りとする。事情により1個800円で購入は可)
- ウ 県大会への出場権を得ても、勝利してない場合や試合をしていない場合は、賞状は与えない。そのかわりに激励賞を与える。
- エ 県大会出場権を得た者で、8位以内に入れなかった者には激励賞を与える。

陸上・水泳について

(1) 団体(総合)表彰

- ア 男女総合1位校に優勝旗、カップ、トロフィーのいずれかを与える。
- イ 男子総合と女子総合の1位校に優勝旗、カップ、トロフィーのいずれかを与える。
- ウ 男女総合、男子総合、女子総合のそれぞれ1位から3位校に、賞状を与える。

(2) 個人表彰

- ア 1位から6位には、個人賞状を与える。リレーは4人に与える。(ただし、出場人数が10名以下の場合には3位までとする。3名以下の場合には1位のみとする。)
- イ 優勝者には、メダルを与える。(リレーは4人に与える。1位にはメダルも与える。一人が複数種目において優勝した場合は1個限りとする。)
- ウ 新記録を出した場合は、記録賞を与える。

2 新人総合体育大会の表彰

南部、北部別の大会をもって小笠地区の新人戦とする。(ただし、陸上、剣道、水泳については南北合同開催とする。)南部、北部でどちらかが、2チームになってしまった場合においては南北合同で開催する。3チーム以下の団体表彰は1位のみ行う。

野球・ソフト・バスケット・バレー・テニス・サッカー・卓球・剣道 について

(1) 団体表彰

- ア 南部、北部各1位チームに優勝旗、カップ、トロフィーのいずれかを与える。
- イ 1位から3位まで、チーム賞状(合同チームには学校数分)を与える。(ただし3位について未勝利のチームには賞状を与えない)個人賞状は優勝チームだけに与え、人数は総体の人数に準じる。

(2) 個人戦表彰

- 1位から3位まで賞状を与える。

陸上・水泳について

(1) 団体(総合)表彰

- ア 男子総合と女子総合の1位校に優勝旗、カップ、トロフィーのいずれかを与える。
- イ 男子総合、女子総合の1位から3位までに賞状を与える。
- ウ 水泳はリレー種目に出場すれば団体とする。

(2) 個人表彰

- ア 1位から3位には、個人賞状を与える。リレーは4人に与える。(ただし、出場人数が3名以下の場合には1位のみとする。)
- イ 新記録を出した場合は、記録賞を与える。

3 顧問功労賞等の表彰

(1) 顧問功労賞

- ア 総体で団体（総合）優勝した場合
 - ・大会表彰時に授与する。合同チームは監督に与えることを基本とする。
- イ 県大会で8位以内に入った場合
- ウ 東海、全国大会に出場した場合
 - ・該当の大会は総体とし、新人戦は含まない。上位大会についても、中体連の大会（通信陸上を含む）を原則とする。
 - ・各種競技団体が開催する大会は、全国大会に出場した場合、理事会で検討する。

(2) 部長功労賞

- ア 3年以上競技部長を務めた部長を表彰する。表彰はその任を退いた時とする。
- イ 顧問者会の際に表彰する。
- ウ 県、西部部長の場合には特別表彰もある。

(3) 県大会以上の優勝顧問功労賞

- ア 県大会以上の優勝顧問に対して表彰する。
- イ 顧問者会の際に表彰する。

4 小笠中学校総合杯の表彰

- (1) 男子の部、女子の部を設け、小笠中学校総合体育大会において上位の3校を表彰する。1位に賞状と優勝杯を、2位と3位に賞状を授与する。
- (2) 部活動として日常的に活動している学校が2校以下の競技と、合同チームは得点の対象としない。
- (3) 入賞得点
 - 各競技ごとに、1位に5点、2位に3点、3位に2点（3位が2校の時には各1点）を与える。ただし、出場校が小笠地区の半数以下の競技については、1位は3点、2位は2点とする。
- (4) 入賞競技は団体競技のみとする。
- (5) 入賞得点が同点の場合は次の通りとする。（合同チームの結果は除く）
 - ア 優勝した競技数の多い学校を上位とする。
 - イ さらに同点の場合には、2位の競技数の多い順とし、それでも決しない場合は3位の競技数の多い順の学校とする。
 - ウ さらに同点の場合には、県大会への出場数の多い学校を上位とする。
 - エ それでも決しない場合には、男女別の運動部加入人数の少ない学校を上位とする。
- (6) 表彰は陸上大会の際に行う。
- (7) 優勝杯は持ち回りとする。

5 特別賞（グッドマナー賞）の表彰

中体連の精神である「スポーツを通して健全な中学生の育成」というねらいから、小笠中学校総合体育大会の取り組みに対し、中学生らしい態度で臨んだ団体（戦績は関係しない）、グループ、あるいは個人を賞揚する。（善行賞とは異なる）

- (1) 各競技部（男女別）から推薦された個人または1グループ、1団体とし、要項に明記する。
- (2) 選考基準は、中体連の申し合わせ事項を考慮し、各競技の特性を十分生かす内容とする。
- (3) 総合杯とは別とする。
- (4) 9月の理事部長会で承認し、該当校に賞状を渡す。その年によって、個人あるいはグループ、団体となってもかまわない。
- (5) 各競技男女別に特別賞選考委員会（部長、副部長、強化対策委員等）を設置し、選考する（必ず各競技部顧問の承認の上、該当校理事にも連絡を取る）。
- (6) 合同チームも対象とし、賞状は学校数分与える。
- (7) 該当者がいない場合もありうる。

【補足】

- (1) 各校の日頃の様子を加味し、まず該当校顧問が受賞するにふさわしいか判断する。顧問が受賞するにふさわしくないとと思われる場合、競技部内の推薦からはずす。
- (2) 各校の理事が校内の日頃の努力や他の部活との比較から、辞退する場合もあり得る。
- (3) 9月の理事部長会で各部から推薦された部が、グッドマナー賞の趣旨、目的にふさわしいか検討し、決定する。

※本表彰規定は、昭和63年4月15日より施行する。

平成6年	4月18日	一部修正	平成19年	3月2日	総合杯得点競技となる基準改定
平成8年	4月11日	総合杯規定作成	平成23年	4月11日	総合杯入賞種目の基準改定
平成10年	4月10日	新人戦規定改正	平成24年	4月9日	陸上・水泳における個人表彰規定の改定
平成11年	4月9日	新人戦規定改正	平成25年	4月8日	団体表彰規定改正
平成12年	6月5日	個人表彰規定改正	平成27年	4月9日	一部修正
平成14年	6月10日	一部修正	平成28年	4月12日	一部修正
平成15年	11月4日	総合杯順位決定の追加	平成28年	5月30日	一部修正
平成16年	6月7日	総合杯決定手順追加・新人戦規定改定	平成29年	4月12日	レプリカ贈呈を削除
平成17年	4月8日	生徒奨励賞・顧問功労賞基準改正	平成31年	4月15日	総合体育大会における個人戦表彰規定改定
平成17年	6月6日	総合杯・グッドマナー賞における合同チームの規定、賞状の数の追加			

静岡県中学校体育連盟スローガン

－ 感動ある大会にしよう －

- 1 「挑戦」 自らが持てる力を出し尽くし、最後まであきらめることなくプレイしよう
- 2 「友愛」 友情の輪を広げ、互いの健闘を認め合う温かさを持とう。
- 3 「自立」 ルールやマナーを守り、さわやかさの残る大会にしよう。

小笠中学校体育連盟申し合せ事項（生徒用）

- 1 「基本」 静岡県中学校体育連盟のスローガンをよく理解し、実践します。
- 2 「心得」 常に中学生としての自覚を持ち、スポーツマンらしい行動をします。
- 3 「競技場」 競技場や控室は、すべて心身を鍛えるところであるという自覚をもち、スポーツマンシップを発揮し、自己の向上につとめ、使用後の片づけも確実にを行います。
体育館へのアイスボックスやおしぼり等の持ちこみには十分注意し、床（フローア）を大切にします。
- 4 「服装など」 シャツのすそをズボンやパンツの中に入れ、乱れた服装でプレーしたり応援したりしないよう、常に正しい服装をします。靴下についても競技にふさわしいものにします。また、学校への持ち込みが禁止されている不要物は持っていきません。
競技を見学する時は、保護者とともに見学します。服装は、自校の制服か体操服（自校の部活動で許可されている服装）で見学します。
- 5 「飲食物」 練習試合を含めて競技会に出場する時は、弁当と水筒を持参し、ゴミは必ず持ち帰ります。菓子やジュース類は絶対に持っていきません。また、会場や移動途中で、菓子やジュース類の買い喰いはしません。
自己の健康管理に心掛け、常にベストコンディションで競技することがスポーツマンには大切であることを実践します。
- 6 「競技規定」 競技会でのベンチに入る人数等は、大会規定をしっかりと守ります。

【お知らせ】

小笠中学校体育連盟のホームページにおいて、小笠中学校総合体育大会及び小笠新人総合体育大会の各競技大会結果を掲載します。

「<https://www.ogasacyu.com/>」または「小笠中体連」で検索していただくと御覧いただけます。

令和4年度 小笠中学校体育連盟 役員一覧表

役職名	氏名	勤務校	役職名	氏名	勤務校
会長	石山 近	掛川西	理事	松浦久美子	原野谷
副会長	古地 隆	御前崎	"	大瀧 幸彦	桜が丘
"	内海 俊朗	原野谷	"	塩原 直哉	掛川北
理事長	岡本 健志	大浜	"	増田 帆南	掛川西
副理事長	伊藤 拓史	御前崎	"	河西 奏恵	掛川東
会計(本部)	青嶋 翔太	菊川東	"	三浦 浩二	栄川
会計(事業費)	吉田 順平	岳洋	"	櫻井 剛	城東
運動年鑑編集委員長	増田 帆南	掛川西	"	岡本 健志	大浜
南部主任	高橋季実子	浜岡	"	玉村 駿	大須賀
北部主任	松浦久美子	原野谷	"	平島 順子	常葉大菊川
新体カテスト委員長	玉村 駿	大須賀	"	佐塚 博茂	菊川西
ホームページ	増田 帆南	掛川西	"	青嶋 翔太	菊川東
会計監査	原田 英明	菊川西	"	吉田 順平	岳洋
"	細川 英晴	桜が丘	"	高橋季実子	浜岡
			"	伊藤 拓史	御前崎

競技名	部長氏名	勤務校	副部長氏名	勤務校
バレー	酒井 史貴	岳洋	岡村 直哉	掛川西
卓球	石川 貴昭	桜が丘	岡田 圭介 山本 若奈 内山 晃子	掛川北 栄川 大須賀
柔道	佐藤 立樹	浜岡		
陸上	鈴木 達	浜岡	朝日 善紀	岳洋
バスケット	松下 佳史	掛川東	井浪 貴斗 増田 陽一 河村耕太郎 澤入 清貴	桜が丘 掛川東 菊川東 菊川東
サッカー	山本 哲也	浜岡	溝垣 駿	桜が丘
ソフト	水元 湧士	岳洋	酒井 陽介 渡辺淳之助	浜岡 原野谷
野球	杉山 優	菊川東	大石 北斗 鈴木 駿志 稲垣 諒 鈴木 優斗	掛川北 原野谷 菊川西 大須賀
ソフトテニス	川中 瑞貴	桜が丘	大倉佑太郎 倉島 諄 吉政 翔太 杵塚 茉穂	掛川東 浜岡 岳洋 掛川北
剣道	水嶋 志展	岳洋	小金澤幸弘	菊川西
水泳	千葉美加子	掛川東	坂野実乃里	掛川西

令和4年度 小笠中学校体育連盟 部活動顧問一覽表

種目/級名	原谷	萩が丘	掛川北	掛川西	掛川東	柴川	城東	大浜	大須賀	常葉大菊川	菊川西	菊川東	岳洋	茨岡	御前崎
1 校 長	菅沼 一浩	石山 哲也	村田 和弥	柴田 勝明	山田 正彦	中澤 俊一	横村 英明	原田 英明	山崎 公男	長谷川 延明	山口 古地	長谷川 延明	長谷川 延明	長谷川 延明	山口 古地
2 教 頭	村松 康	藤田 彰規	豊田 彰規	豊田 彰規	藤田 彰規	大石 佳治	山田 大蔵	堀井 潤	相田 慎	高塚 由佳利	早馬 忠広	相田 慎	相田 慎	相田 慎	早馬 忠広
3 教 務	岩崎ひろ子	宮城 友子	高橋 浩美	高橋 浩美	高橋 浩美	中村 聖菜	池原 佳奈	渡藤 まどか	小野 夏菜	菅木 昌人	増田 久美子	竹嶋 伸小	山崎 多恵子	山崎 多恵子	増田 久美子
4 養護教諭	松浦久美子	池原 直哉	中山 直哉	中山 直哉	中山 直哉	三浦 浩二	藤井 剛	岡本 健志	玉村 健	平島 剛子	伊藤 拓史	青嶋 翔太	高橋 幸美子	高橋 幸美子	伊藤 拓史
5 理 事															
6 男バレー															
7 女バレー															
8 男卓球															
9 女卓球															
10 柔 道															
11 陸 上															
12 駅 伝															
13 男バスケ															
14 女バスケ															
15 サッカー															
16 ソフト															
17 野 球															
18 男子ニス															
19 女子ニス															
20 剣 道															
21 水 泳															
22 体 育															
23 n'12/17															
24 弓 道															
25 文化祭等															

小笠地区中学校陸上競技大会 大会記録

2011年度大会より、競技種目を一部変更

	種 目	氏 名	校 名	記 録	年	
男	1年100m	赤 堀 眞	岳 洋	12秒11	2016	
	1年1500m	武 田 悠 佑	浜 岡	4分37秒01	2018	
	2年100m	赤 堀 眞	岳 洋	11秒40	2017	
	2年1500m	眞 田 翼	桜 が 丘	4分24秒42	2012	
	3年100m	懸 利 至	岳 洋	11秒08	1992	
			馬 場 貴 士	掛 川 北	11秒08	2002
	3年男子1500m	植 田 航 生	浜 岡	4分13秒97	2019	
	共通200m	鈴 木 悠 斗	掛 川 北	22秒80	2022	
	共通400m	横 山 直 広	掛 川 西	52秒22	2008	
	共通800m	杉 村 直 柔	掛 川 北	2分1秒75	2012	
	共通3000m	進 士 和 樹	菊 川 東	9分20秒53	1994	
	共通110mH	神 田 就 太	掛 川 西	14秒91	2010	
	低学年4×100mR	菊 川 西 中 学 校		47秒69	2018	
	共通4×100mR	掛 川 北 中 学 校		44秒04	2022	
	共通走幅跳	小 原 颯 馬	菊 川 西	6m68	2021	
	共通走高跳	高 塚 佳 成	掛 川 北	1m86	1988	
	共通砲丸投	塩 見 隆 夫	岳 洋	12m26	2010	
	共通棒高跳	松 浦 勝 久	掛 川 北	4m10	1992	
	女	1年100m	木 村 美 結	掛 川 西	12秒62	2018
1年800m		中 島 葵	菊 川 西	2分27秒49	2008	
2年100m		丹 羽 花 香	菊 川 西	12秒66	2017	
2年800m		中 島 葵	菊 川 西	2分20秒84	2009	
3年100m		木 村 美 結	掛 川 西	12秒46	2020	
共通200m		松 岡 典 子	掛 川 東	25秒79	2022	
共通800m		中 島 葵	菊 川 西	2分17秒97	2010	
共通1500m		中 島 葵	菊 川 西	4分43秒27	2010	
共通100mH		松 下 里 帆	菊 川 西	14秒93	2017	
低学年4×100mR		菊 川 西 中 学 校		52秒29	2016	
共通4×100mR		菊 川 西 中 学 校		50秒64	2017	
共通走幅跳		有 海 朱 音	菊 川 西	5m42	2012	
共通走高跳		岩 崎 真 弓	城 東	1m65	1983	
共通砲丸投		大 橋 恵 子	大 須 賀	12m69	1980	

小笠地区中学校水泳競技大会 大会記録

	種 目	氏 名	校 名	記 録	年	
男	50m自由形	小 林 凌	掛川東	25秒93	2016	
	100m自由形	松 村 希 良 軌	掛川東	54秒94	2016	
	200m自由形	松 村 希 良 軌	掛川東	1分59秒63	2016	
	400m自由形	田 島 冬 野	菊川西	4分27秒25	2014	
	1500m自由形	山 下 陣	岳 洋	17分32秒92	2009	
	100m平泳ぎ	秋 山 樹 良	掛川東	1分09秒90	2021	
	200m平泳ぎ	秋 山 樹 良	掛川東	2分33秒80	2021	
	100m背泳ぎ	黒 田 雄 太	岳 洋	1分06秒01	2010	
	200m背泳ぎ	黒 田 雄 太	岳 洋	2分21秒02	2010	
	100mバタフライ	荻 田 遼 介	大 浜	1分00秒75	2006	
	200mバタフライ	荻 田 遼 介	大 浜	2分16秒73	2006	
	200m個人メドレー	黒 田 景 太	岳 洋	2分18秒74	2010	
	400m個人メドレー	黒 田 景 太	岳 洋	4分52秒58	2010	
	子	400mメドレーリレー	掛 川 東 中		4分36秒00	2016
400mリレー		掛 川 東 中		4分09秒82	2016	
女	50m自由形	寺 下 凜	掛川東	28秒95	2017	
	100m自由形	金 子 春 香	桜が丘	1分00秒67	2008	
	200m自由形	金 子 春 香	桜が丘	2分12秒57	2008	
	400m自由形	清 水 千 尋	浜 岡	4分40秒46	1998	
	800m自由形	大 橋 保 南	岳 洋	9分31秒90	2005	
	100m平泳ぎ	澤 崎 琉 奈	菊川東	1分18秒00	2014	
	200m平泳ぎ	澤 崎 琉 奈	菊川東	2分48秒19	2014	
	100m背泳ぎ	松 浦 香 苗	栄 川	1分09秒49	2013	
	200m背泳ぎ	松 浦 香 苗	栄 川	2分25秒62	2013	
	100mバタフライ	松 下 紋 華	大須賀	1分08秒01	2008	
	200mバタフライ	杉 山 多 英	桜が丘	2分27秒75	2014	
	子	200m個人メドレー	下 嶋 菜 々 恵	岳 洋	2分27秒51	2012
		400m個人メドレー	下 嶋 菜 々 恵	岳 洋	5分11秒97	2012
		400mメドレーリレー	岳 洋 中		4分53秒40	2009
400mリレー		浜 岡 中		4分25秒38	1998	

令和4年度 小笠中学校総合体育大会 総合杯 結果

種目	男子			女子		
	優勝	準優勝	3位	優勝	準優勝	3位
1 バレー	浜岡	菊川西	掛川北 大浜	大須賀	御前崎	桜が丘 浜岡
2 卓球	掛川東	掛川西	菊川西 岳洋	掛川西	菊川西	大浜 岳洋
3 陸上	掛川北	浜岡	菊川東	掛川東	浜岡	菊川西
4 バスケット	掛川西	菊川東	大須賀 浜岡	掛川東	御前崎	掛川北 菊川西
5 サッカー	浜岡	菊川西	掛川西 掛川東			
6 ソフト				掛川東	岳洋	浜岡 菊川西
7 野球	菊川東	岳洋	大須賀 浜岡			
8 ソフトテニス	菊川西	掛川西	掛川北 菊川東	菊川西	浜岡	掛川西 菊川東
9 剣道	大須賀	浜岡		岳洋	大浜	

総合杯 歴代の結果

	男子						女子					
	1位	点	2位	点	3位	点	1位	点	2位	点	3位	点
平成9年度	浜岡	16	掛川西	14	大浜	8	掛川北	17	岳洋	13	原野谷	8
平成10年度	掛川西	17	大須賀	11	浜岡	9	掛川東	15	掛川西	13	岳洋	11
平成11年度	浜岡	15	菊川東	14	掛川東	12	浜岡	17	掛川西	13	掛川北	11
平成12年度	掛川西	15	浜岡	14	掛川北	9	掛川北	16	浜岡	15	掛川西	13
平成13年度	掛川西	12	浜岡	11	掛川北	11	掛川北	18	掛川東	15	掛川西	12
平成14年度	浜岡	15	掛川西	12	掛川北	10	掛川西	14	掛川東	14	掛川北	12
平成15年度	浜岡	・	城東	13	大須賀	10	掛川東	13	掛川北・掛川西・原野谷			9
平成18年度	掛川西	22	掛川北	10	菊川西	8	菊川東	10	掛川西	9	大浜	7
平成19年度	掛川東	18	掛川西	13	御前崎	11	掛川西	17	菊川西	8	掛川北	8
平成20年度	掛川西	15	掛川東	11	掛川北	10	掛川西	18	浜岡	12	大須賀	8
平成21年度	掛川西	21	浜岡	11	掛川東	10	掛川西	13	桜が丘	9	浜岡	8
平成22年度	掛川東	16	菊川西	13	掛川西	11	岳洋	13	掛川西	11	掛川北	10
平成23年度	菊川西	16	掛川北	14	掛川東	12	菊川西	15	浜岡	11	御前崎	9
平成24年度	掛川東	15	菊川西	12	掛川西	9	御前崎	9	桜が丘	9	掛川北	9
平成25年度	掛川西	18	掛川東	14	浜岡	10	浜岡	11	桜が丘	11	掛川東	9
平成26年度	浜岡	16	御前崎	11	桜が丘	11	掛川北	11	掛川西	10	御前崎	8
平成27年度	掛川北	12	菊川西	11	掛川西	10	掛川西	15	桜が丘	8	浜岡	7
平成28年度	掛川東	10	掛川北	9	御前崎	8	掛川西	13	菊川西	10	桜が丘	9
平成29年度	掛川西	12	掛川北	8	桜が丘	8	菊川西	14	掛川西	10	御前崎	9
平成30年度	掛川北	15	掛川東	10	菊川西	9	浜岡	16	菊川西	12	御前崎	11
令和元年度	掛川西	15	菊川西	10	浜岡	10	大浜	13	菊川西	9	桜が丘	9
令和2年度	新型コロナウイルス感染拡大のため、小笠総合体育大会は中止											
令和3年度	浜岡	10	掛川西	9	御前崎	8	浜岡	14	菊川西	11	掛川西	9
令和4年度	浜岡	15	掛川西	12	菊川西	11	掛川東	15	菊川西	12	浜岡	8

令和4年度 小笠中学校総合体育大会 総合杯 得点表

県出場枠	2	2	△	2	1	2	2	1	△	△	○は団体種目で県大会出場					
男子	バレー	卓球	陸上	バスケット	サッカー	野球	テニス	剣道	水泳	駅伝	得点合計	優勝数	準優勝数	三位数	県出場数	総合順位
原野谷											0					9
桜が丘											0					9
掛川北			5				1				6	1		1		6
掛川西		③		⑤	1		③				12	1	2	1	3	2
掛川東		⑤			1						6	1		1	1	5
栄川											0					9
城東											0					9
大浜											0					9
大須賀				1		1		③			5	1		2	1	7
常葉菊川											0					9
菊川西	②	1			3		⑤				11	1	2	1	2	3
菊川東			2	③		⑤	1				11	1	1	1	2	4
岳洋		1				③					4		1	1	1	8
浜岡	③		3	1	⑤	1		2			15	2	2	2	2	1
御前崎											0					9

県出場枠	2	2	△	2	*	3	2	1	△	△	○は団体種目で県大会出場					
女子	バレー	卓球	陸上	バスケット	***	ソフト	テニス	剣道	水泳	駅伝	得点合計	優勝数	準優勝数	三位数	県出場数	総合順位
原野谷											0					12
桜が丘	1										1			1		9
掛川北				1							1			1		10
掛川西		⑤					1				6	1		1	1	5
掛川東			5	⑤		⑤					15	3			2	1
栄川											0					12
城東											0					12
大浜		1						2			3		1	1		8
大須賀	⑤										5	1			1	7
常葉菊川											0					12
菊川西		③	2	1		1	⑤				12	1	1	3	2	2
菊川東							1				1			1		11
岳洋		1				③		③			7	1	1	1	2	4
浜岡	1		3			①	③				8		2	2	2	3
御前崎	③			③							6		2		2	6

グッドマナー賞

競技	該当校	選出理由
男バレー	菊川西	<ul style="list-style-type: none"> ・礼儀正しい態度で大会に臨んだ。 ・気持ちのよいあいさつ、生き生きとしたプレーが素晴らしかった。
女バレー	原野谷	<ul style="list-style-type: none"> ・大会に取り組む姿勢だけでなく、会場校として朝早くからネットやコートの準備をしてくれた。 ・気持ちのよいあいさつ、生き生きとしたプレーが素晴らしかった。
男卓球	該当校なし	
女卓球	掛川西	全日程終了後、チーム全員で使用した備品や卓球台の後片付けを率先して行っていた。大会の円滑な運営のために進んで仕事をしようとする姿勢は素晴らしい。全試合への参加姿勢も仲間へ熱心に声援を送っている姿も素晴らしかった。
柔道	浜岡	柔道競技については、本校1校だけであるが、前々からの準備や清掃を含め、当日の駐車場係や会場係について積極的に部員が動いてくれた。特に試合に出ない1年生が朝早くの仕事や片付けまで活躍してくれた。
陸上	掛川東	あいさつがしっかりでき、礼儀正しい。また、大会時には朝早くから運営の準備に率先して協力している。
男バスケ	掛川東	<ul style="list-style-type: none"> ・常に礼儀正しかった。 ・会場を気持ちよく貸し、なおかつスムーズな運営ができていた。 ・公式戦、練習試合共に挨拶等しっかりしていたから。 ・総体だけではなく、普段からよいマナーで取り組む姿が見られた。
女バスケ	桜が丘	<ul style="list-style-type: none"> ・最後まで仲間にプラスの声掛けをし合い、コートから出たボールを率先して取りに行き、負けてしまった直後でもオフィシャルに責任をもって取り組む姿に「応援したい」と思われました。2年間の部活動の中で、技術以上に大切なものを培ってきたことがよく伝わりました。 ・整理整頓、準備片付け、聞く態度、一生懸命さ、挨拶、審判への態度など、下位チームながらもしっかりしていたと感じるため。
サッカー	菊川東 桜が丘 掛川北 御前崎	11人そろえることができない現状がある中で、合同チームを組んだり、下級生を育ててチームを成形させてきたりしたチームである。存続があぶない中で、最後まで諦めずに自分たちのチームを信じて、戦う姿がすばらしかった。
ソフト	岳洋	<ul style="list-style-type: none"> ・1年間を通じて、練習や練習試合、大会に取り組む姿勢が一生懸命であった。あいさつや返事、グラウンド内の駆け足など、爽やかであった。 ・気持ちのよいあいさつ、丁寧なグラウンド整備、審判の方をリスペクトする態度が素晴らしかった。 ・総体3日間においても、あいさつ、試合に挑む姿、中学生らしく、気持ちの良い姿であった。 ・あいさつの声が大きく、礼儀正しく接していて、とても気持ちよかった。
野球	常葉大学附属 菊川中学校	ペナントレースや小笠総体において、対戦相手との実力差があっても、常に前向きで明るいプレーを続けていたから。
男テニス	掛川北	<ul style="list-style-type: none"> ・団体戦のときに桜ヶ丘のテントを直してあげていたから。 ・他校の荷物が飛ばないように気を配ったり、率先してコート整備を行ったりしていた。 ・本校生徒の試合時に掛北の生徒が審判をしていました。乱打の際、ネットにかかったボールを副審の生徒が走って取りに行く様子が見られたので。
女テニス	菊川東	<ul style="list-style-type: none"> ・本部挨拶も素早く来ており、試合中も元気よくメリハリのついたプレーをする選手が多かったからです。 ・気持ちの良いあいさつ、プレー、笑顔 ・試合中も待機中もマナー良く、さわやかなあいさつができていました。またコート整備も率先して行っていたと思います。
剣道	該当校なし	
水泳	該当校なし	

令和4年度 生徒奨励賞・顧問功労賞 一覧 No. 1

小笠中学校体育連盟

	生徒奨励賞				顧問功労賞	
	西部予選会3位以内、県大会8位以内 東海大会出場、全国大会出場				小笠総体 優勝顧問	左記以外で生徒奨励賞受賞者の顧問
男バレー					浜岡 堀川竜太郎	
女バレー	大須賀	県	5位		大須賀 玉村 駿	
	御前崎	県	5位			御前崎 松下裕伸
男卓球					掛川東 内山優輝	
女卓球					掛川西 榛葉恵理	
男柔道	中谷脩真 (桜が丘)	50kg級 県	2位			
		東海	出場			
	中村謙信 (掛川北)	90kg以下級 県	5位			掛川北 萩田昌人
	松下 敬 (菊川東)	81kg級 県	5位			
					浜岡 佐藤立樹	
女柔道	荒木陽真里 (大浜)	44kg以下級 県	5位			
陸上(男)	佐藤由直・鈴木悠人・久野遥人・佐藤瑠 (掛川北) 4×100mR 西部 1位 44.22 県 出場					
	鈴木悠人 (掛川北) 3年100m 西部 3位 11.23 県 5位 11.23 東海 6位 11.18 全国 出場 11.28				掛川北 鈴木寿樹	掛川北 鈴木寿樹
	久野遥人 (掛川北) 2年100m 西部 3位 11.91 県 出場					
	梁瀬伊織 (菊川西) 共通1500m 西部 4位 4:12.18 県 4位 4:08.19 東海 5位 4:12.73 全国 出場 4:09.47					菊川西 小林大晃
	横溝大貴・鳥居翔太・栗平蒼士・村松慶人 (掛川西) 低学年4×100mR 西部 5位 50.32 県 4位 48.13 東海 出場					掛川西 加藤由樹子
陸上(女)	河原崎えな (浜岡) 女子共通砲丸投 県 6位 10m39cm 東海 出場					浜岡 鈴木 達
	藤田祐咲 (浜岡) 女子共通200m 県 8位 26.38 東海 出場					
	郡花歩・佐藤凜香・林優衣・大石真瑚 (掛川北) 低学年4×100mR 県 7位 54.56					
	大石真瑚 (掛川北) 2年100m 西部 2位 13.18 県 5位 13.16 東海 出場 13.37					掛川北 鈴木 寿樹
	松岡典子 (掛川東) 共通100m 西部 2位 12.59 県 3位 12.59 全国 出場 12.55 共通200m 西部 2位 25.81 県 3位 25.81 東海 4位 25.73				掛川東 篠崎 光	掛川東 篠崎 光
	寺田涼華 (掛川東) 女子共通走幅跳 県 8位 4m84					

令和4年度 生徒奨励賞・顧問功労賞 一覧 No. 2

小笠中学校体育連盟

	生徒奨励賞				顧問功労賞			
	西部予選会3位以内、県大会8位以内 東海大会出場、全国大会出場				小笠総体 優勝顧問		左記以外で生徒奨励賞受賞者の顧問	
男バスケ					掛川西	横井泰人		
女バスケ					掛川東	大杉鏡康		
サッカー					浜岡	山本哲也		
ソフト	岳洋	県	5位		掛川東	高柳真吾	岳洋	水元湧士
野球					菊川東	青嶋翔太		
男テニス					菊川西	松下浩人		
女テニス					菊川西	山本高裕		
バドミントン	常葉菊川	女子団体	県	優勝				
			東海	出場				
	深田夏記 山崎咲七 (常葉菊川)	女子ダブルス	県	4位	常葉菊川 龍頭健斗			
			東海	出場				
	森本咲菜 (常葉菊川)	女子シングル	県	8位				
	鈴木一幸 鈴木耕鞠 (常葉菊川)	女子ダブルス	県	8位				
男剣道					大須賀	山村大蔵		
女剣道					岳洋	水嶋志展		
水泳(男)	水越朝陽	(掛川北)						
	200m平泳ぎ		西部	2位			掛川北 村松一秀	
			県	5位				
			東海	9位				
	西原楓太	(御前崎)						
	100m平泳ぎ		西部	2位				
			県	8位				
					掛川東	千葉美加子		
水泳(女)					掛川東	千葉美加子		
硬式テニス	小島詠	(掛川北)					掛川北 齋藤竹世	
		シングルス	県	5位				

令和4年度 小笠中学校新人総合体育大会 結果

南部大会

種目	男子			女子		
	優勝	準優勝	3位	優勝	準優勝	3位
1 バレー	大浜	***	***	大須賀	浜岡	菊川西 大浜
2 卓球	菊川西	岳洋	御前崎	菊川西	浜岡	岳洋
4 バスケット	御前崎	菊川西	菊川東 大須賀	大浜	浜岡	菊川西 菊川東
5 サッカー	菊川西	浜岡	***	***	***	***
6 ソフト	***	***	***	菊川西	***	***
7 野球	菊川西	菊川東	大浜 御前崎	***	***	***
8 ソフトテニス	菊川西	岳洋	大浜	菊川西	浜岡	菊川東

北部大会

種目	男子			女子		
	優勝	準優勝	3位	優勝	準優勝	3位
1 バレー	掛川北	掛川西	掛川東	桜が丘	掛川北	掛川東 掛川西
2 卓球	掛川東	掛川北	桜が丘	掛川西	掛川北	栄川
4 バスケット	掛川西	原野谷	桜が丘 常葉菊川	掛川東	掛川北	***
5 サッカー	掛川東	掛川西	***	***	***	***
6 ソフト	***	***	***	桜が丘	掛川東	***
7 野球	栄川	掛川北	桜が丘 掛川西	***	***	***
8 ソフトテニス	掛川西	桜が丘	掛川北	掛川西	掛川北	桜が丘

南北同時開催

種目	男子			女子		
	優勝	準優勝	3位	優勝	準優勝	3位
1 陸上	掛川西	菊川西	浜岡	掛川東	掛川北	菊川西
2 剣道	大須賀	菊川西	岳洋	大浜	岳洋	御前崎
3 水泳	掛川東	***	***	掛川東	***	***

バレーボール

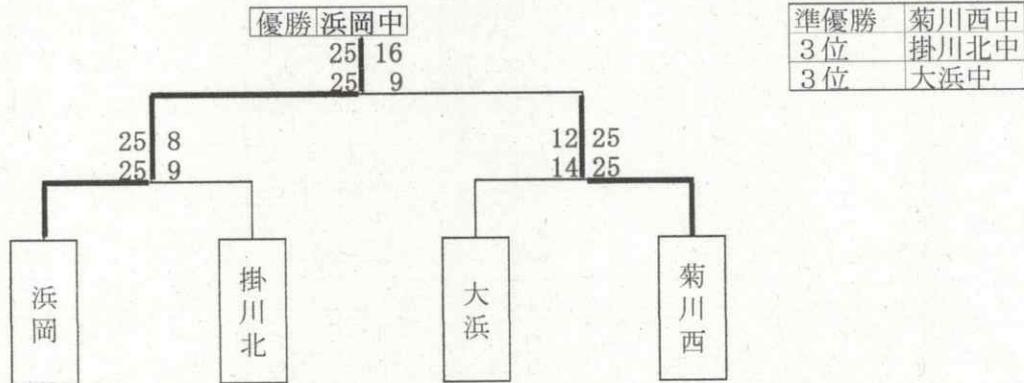
総合体育大会（男子）

<予選リーグ>

A リーグ	①	②	③	順位
① 浜岡中	○	○	○	1位
② 大浜中	×	○	○	2位
③ 掛川東中	×	×	○	3位

B リーグ	①	②	③	順位
① 菊川西中	○	○	○	1位
② 掛川北中	×	○	○	2位
③ 掛川西中	×	×	○	3位

<決勝トーナメント>



大会結果 優勝 浜岡 準優勝 菊川西 3位 掛川北、大浜

大会寸評

掛川市立西中学校 岡村 直哉

本年度は、各校が特徴を生かして、それぞれの目標に向かって精一杯戦う姿が多く見られた。

優勝した浜岡中は、チームから絶大な信頼を得ているエースを中心とした攻守がチームに安定感を与え、得点を重ねていた。準優勝の菊川西中はセッターがチームの要として効果的な攻撃を作り、また、気迫のあふれるプレーで会場を沸かせる場面が多くあった。その他のチームも自信をもって攻撃できる形があり、いかにしてその形に持ち込めるかが、勝敗の分けることになったと考えられる。

バレーボールという競技を通して、仲間と一つのことを成し遂げる達成感や、多くの人に支えてもらっていることへの感謝の念の大切さなどを生徒に伝えていきたい。そして、技術力の向上はもちろん、人としての成長を指導者として大切にしていきたい。

優勝作文

御前崎市立浜岡中学校 河原崎 空

僕たちが中体連に向けて頑張ってきたことは、チームの攻撃の幅を広げることです。様々な攻撃をして得点につなげていけるように努力してきました。

僕はバレーボールを通して、仲間の大切さを学びました。バレーボールは一人の力だけでは何もできません。レシーブをし、トスを上げ、スパイクを打つ。このように全員で一つのボールをつなぎ、全員で目標に向かって頑張っていきます。小笠大会では、仲間と共に支え合い、自分たちのバレーをすることがとても楽しかったです。

県大会でも、全員が支え合い、自分たちのバレーを貫き、県大会ベスト8の目標を達成できるように頑張りたいです。

新人総合体育大会（北部男子、南部男子）

北部	掛川東	掛川北	掛川西
掛川東		14 - 25	18 - 25
		24 - 26	23 - 25
		負け	負け
掛川北	25 - 14		25 - 23
	26 - 24		25 - 18
	勝ち		勝ち
掛川西	25 - 18	23 - 25	
	25 - 23	18 - 25	
	勝ち	負け	

南部	浜岡	大浜	菊川西
浜岡		14 - 25	25 - 19
		23 - 25	25 - 8
		負け	勝ち
大浜	25 - 14		25 - 4
	25 - 23		25 - 5
	勝ち		勝ち
菊川西	4 - 25	19 - 25	
	5 - 25	8 - 25	
	負け	負け	

大会結果 北部 優勝 掛川北
南部 優勝 大浜

大会寸評

掛川市立西中学校 岡村 直哉

新チームの初公式戦となった今大会では、どのチームもやる気や緊張が伝わる試合が多く見られた。本大会では、攻守において1打目の精度が勝敗に大きく左右したといえる。1打目の精度を高めるとともにそれぞれの長所を生かすチームに、小笠一体となって成長させたい。また、大きな声で挨拶したり、素早い行動を心がけたりと清々しい姿が見られた。初心を忘れず、夏の大会には成長した姿を各チームとも見せたい。

優勝作文

掛川市立北中学校 山下 優斗

「努力は無限」北中の横断幕にも書かれている言葉です。僕たち北中バレー部は『この言葉を胸に、自分たちで考え、練習を積み重ねてきました。

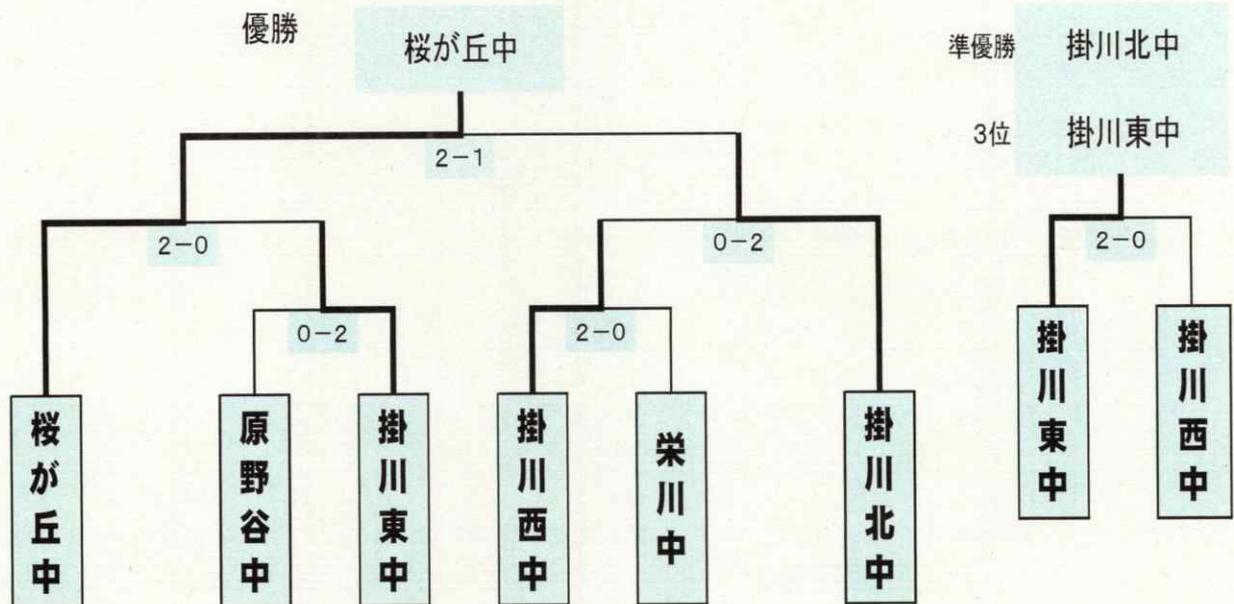
大会では、初の公式戦ということもあり、不安が大きかったです。みんなで声を掛け合い、これまでの練習やチームの力を信じて精一杯頑張り、優勝できました。一方、多くの課題もあったので、今後は課題の克服に向けて一歩ずつ練習に励んでいきたいと思ひます。

優勝作文

掛川市立大浜中学校 杉本 稜典

3年生が1人で引っ張ってくれていたチームを受け継ぎ、2年生5人での新チームがスタートしました。「中体連県ベスト16」という目標を掲げ、練習に取り組んできました。メンバーがあまり変わらなかったこともあり、新人戦では良い結果を残すことができました。しかし、この結果に満足してしまっはチームの目標を達成することはできません。今回の結果を1つの通過点として考え、質の高い練習をこれからも続けていきたいです。そして最後の大会では、「県大会ベスト16」という目標を達成したいです。バレーボールができることに感謝し、これからも努力を続けていきたいです。

新人総合体育大会（北部女子）



大会結果 優勝 桜が丘 準優勝 掛川北 3位 掛川東

大会寸評

掛川市立西中学校 増田 帆南

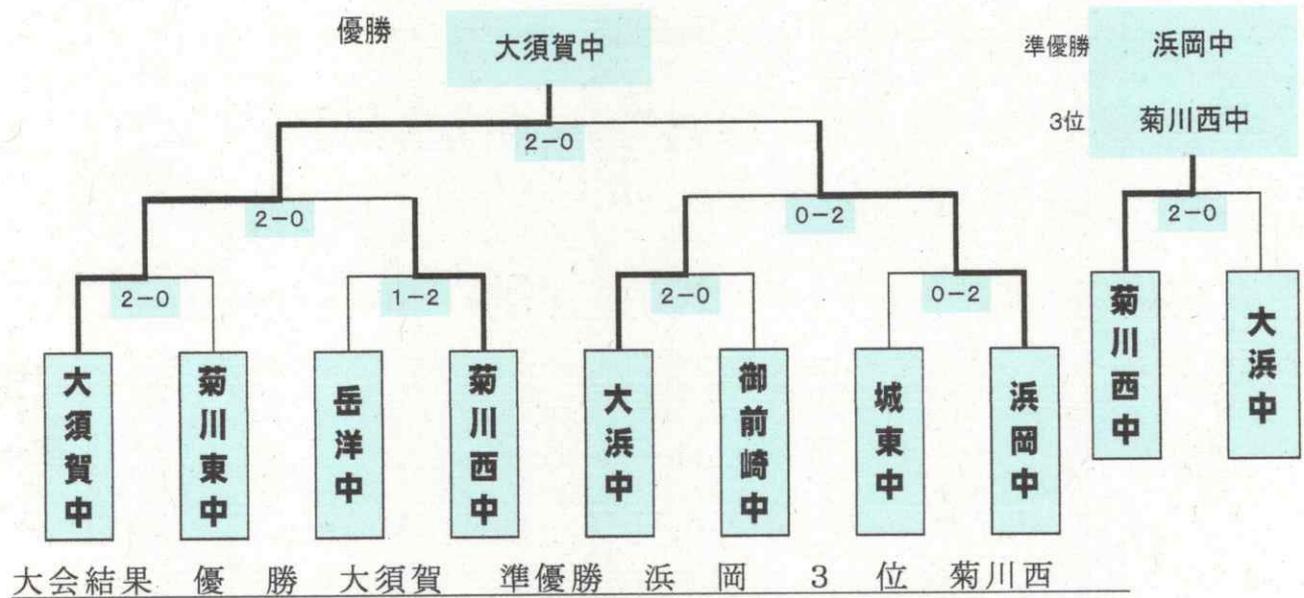
新チームになって初めての公式戦ということもあり、どの試合も拮抗した試合が数多く見られた。どのチームも礼儀正しい行動と試合内容が多く見られた。決勝の桜が丘中对掛川北中では、粘り強くボールを拾い、高い打点からスパイクを打つ掛川北中に対し、低いトス回しでレフトを中心に攻撃を仕掛ける桜が丘中との試合は、フルセットの末に桜が丘中が優勝した。北部女子は大会順位に関わらず、今後の成長が期待できるチームが多く見られた。今後、それぞれのチームがお互いに高め合い県大会やそれより上に大会で活躍していってくれることを期待したい。

優勝作文

掛川市立桜が丘中学校 鶴見 亜衣栞

今年はコロナでの制限が少しずつ緩和され、以前と近い形で練習や練習試合を行い、新人戦に臨みました。新人戦では、チームのリズムが悪くなくても、私たちの強みである明るさでカバーし、互いに声を掛け合い、乗り越えることができましたと思います。試合では、サーブやスパイクで攻め、チーム全員が「優勝する！」という気持ちを持ち、思い切ってプレーすることができました。今後も、チーム全体で助け合い、一生懸命ボールを追い、粘り強くボールを繋ぐことを一人一人が意識をし、自信を持ってプレーできるように、これからの大会、そして夏の中体連に向けて頑張っていきます。

新人総合体育大会（南部女子）



大会寸評

菊川市立岳洋中学校 酒井 史貴

新チームになって初めての公式戦ということもあり、各チームの選手の表情が緊張でこわばっている様子が見受けられた。しかし、1回戦目から新人戦とは思えない、とてもレベルの高い試合が多く見られた。サーブレシーブがどのチームも安定しており、どこにサーブやスパイクを打つか、どう守るのかなどの駆け引きがある試合が多く、小笠地区のレベルの高さが感じられた。

その中でもブロックとレシーブの連携を図りながら、高い打点からスパイクを打つ大須賀中、ミスが少なく、安定した守備から攻撃を仕掛ける浜岡中が決勝へと進出した。決勝戦では、浜岡中が粘り強いレシーブを見せたが、高い打点からスパイクを打ち点数を重ねた大須賀中が優勝を決めた。

今年度の新人戦はどのチームも上位大会に勝ち上がる力があるレベルの高い試合が展開された。今後の練習でさらに力をつけて、上位大会へ進出をもらいたい。

優勝作文

掛川市立大須賀中学校 横山 佳保

私たち大須賀中バレーボール部は、全国大会出場を目標にしています。私たちのチームは、ブロックとレシーブを強化して、トータルディフェンスがうまくできるように練習しています。今回の新人戦では、その練習の成果が出てボールを粘り強く繋げて点を取り、優勝することが出来ました。しかし、自分たちの簡単なミスで相手に点を与えてしまった場面もありました。全国大会出場を叶えるためには、まだまだ課題がたくさんあります。日頃の練習でも、常に全員が大きな声を出して、試合中のどんな場面でもお互いに声を掛け合えるようにしたいです。そしてボールへの執着心を鍛え、全体のレシーブ力を上げて、簡単にボールを落とさないチームになりたいです。“試合でも練習どおりにやる”ということ意識して、さらに上を目指してこれからも頑張っていきます。

卓 球

総合体育大会

大会結果

【個人戦】

〈男子〉

優勝 倉島 佳祐(掛川東) 準優勝 平野 竜輝(掛川東) 3位 石原健支郎(掛川東)
4位 松尾 好(御前崎) 5位 川崎 啓太(掛川西) 6位 小川 海翔(掛川東)

〈女子〉

優勝 大古田夢加(菊川西) 準優勝 杉原梨理菜(掛川西) 3位 鈴木 祐里(掛川西)
4位 岡本和佳奈(栄川) 5位 鈴木 沙歩(大浜) 6位 平野 花音(掛川東)
7位 山田きらら(岳洋)

【団体戦】

〈男子〉 優勝 掛川東 準優勝 掛川西 3位 菊川西、岳洋

〈女子〉 優勝 掛川西 準優勝 菊川西 3位 大浜、岳洋

大会寸評

掛川市立桜が丘中学校 石川 貴昭

女子団体の準決勝では、菊川西が大浜との接戦を制した。菊川西の大古田が2年生ながらチームの主力として活躍し、県大会出場へと牽引した。決勝は掛川西が制し、チームとしての総合力や指導力の高さが表れた。男子団体では、掛川東が他を寄せぬ力を示して県大会出場となった。2年生の倉島、石原の活躍や平野が3年生としての力を示した。個の力とチームとしての力が一つの方向に向かっての勝利となった。

男子個人では、掛川東の倉島が同校の平野に3対2で勝利をした。本年度は上位6名の内、4名が掛川東中であり、個の力としても高いことを示した。また優勝の倉島、3位の石原は2年生であり、今後の活躍が非常に期待される選手である。女子個人では、菊川西の大古田が掛川西の杉原との決勝を3対0で勝利した。正当派同士の速いラリーでの戦いであった。また1年生ながら6位入賞を果たした掛川東の平野は今後の活躍が非常に期待される。どのチームの選手もコロナ禍で大会や練習に制限がある中で3年間の練習の積み重ねを示した。

優勝作文(男子)

掛川市立東中学校 平野 竜輝

僕たち掛川東中学校は2年生2人と3年生で団体戦優勝を目指し、練習に励みました。練習ではたくさんの方を工夫しました。それは、学年を越えみんなで練習をしたことです。2年生の部員が3年生を指導したこともあり、3年生が2年生を指導したこともあり、その結果、お互い力をつけ、部員の技術の差も小さくなっていき、チーム全員成長することができました。また対戦した選手の特徴をみんなで共有しました。ラバーの種類、握り方、プレースタイルなどを共有しました。そのおかげで自分が対戦したことのない人でも戦い方がわかり、勝利へ繋がりやすくなりました。事前に相手がわかっていた場合、その選手の対策ができました。

僕たちが優勝することができたのは顧問の先生、先輩方、保護者、チームのみんなの支えがあったからです。期待に応えられるよう、僕たちは全力で戦いました。県大会では小笠代表として1戦1戦全力で試合をしていきます。

優勝作文(女子)

掛川市立西中学校 海野真奈花

私たちの部活の始まりは、コロナ禍の休校明けでした。例年より遅い部活のスタートに不安を抱きながらも目標を定め、「切磋琢磨」を合言葉に小笠優勝を目指して日々の活動に取り組みました。上下関係の壁を越えた教え合いで技術を磨き、経験を積み重ねてきました。そして、小笠のどのチームよりたくさんボールに触れ、練習したという事実が私たちに自信を与えてくれていました。また、休日の部活の時には学校の「創自」をして運を味方につけるようにし、準備や片付けを素早く行い時間を大切にすることに心がけました。大会では、先輩方に見習い、積極的に準備や片付けを行いました。また、仲間が試合をしている時には、大きな声が出せない中、精一杯拍手をすることで、互いに思いやることを忘れずに試合に臨みました。私たちの「特別」な2年半の中で、大切なものを手に入れたと思います。

新人総合体育大会

大会結果

【個人戦】

〈南部男子2年〉	①佐俣（岳洋）	②後藤（菊川西）	③荻須（大須賀）	③水野（菊川西）
〈南部男子1年〉	①山内（菊川西）	②齊藤（菊川西）	③澤村（菊川西）	③服部（大須賀）
〈南部女子2年〉	①大古田（菊川西）	②黒田（菊川西）	③津野（菊川西）	③大石（岳洋）
〈南部女子1年〉	①津野（菊川西）	②永井（岳洋）	③本間（岳洋）	③河原崎（浜岡）
〈北部男子2年〉	①倉島（掛川東）	②石原（掛川東）	③高塚（掛川東）	③鈴木（桜が丘）
〈北部男子1年〉	①角皆（掛川東）	②鈴木（栄川）	③松下（栄川）	③坂井（掛川西）
〈北部女子2年〉	①小柳津（掛川西）	②岩井（掛川北）	③中嶋（掛川西）	③松浦（掛川北）
〈北部女子1年〉	①平野（掛川東）	②佐藤（掛川北）	③中沢（掛川西）	③金田（掛川西）

【団体戦】

〈南部男子〉	優勝 菊川西	準優勝 岳洋	3位 御前崎
〈南部女子〉	優勝 菊川西	準優勝 浜岡	3位 岳洋
〈北部男子〉	優勝 掛川東	準優勝 掛川北	3位 桜が丘
〈北部女子〉	優勝 掛川西	準優勝 掛川北	3位 栄川

大会寸評

掛川市立桜が丘中学校 石川 貴昭

本年度はコロナウィルス感染症の影響から、2年ぶりの開催となった。1日目に北部、2日目に南部の試合を行うことや、無観客での試合を開催し、接する人の人数をなるべく少なくすることで対策を行った。当日時間が押してしまうこともあったが、各顧問の先生方の多大なる協力のおかげで、スムーズな大会運営となった。

本年度の大会では、男子は掛川東中、菊川西中、女子では掛川西中、菊川西中が強さを見せた。夏の中体連でも優勝、準優勝したチームが台頭しており、新チームに移った中でも安定したレベルを保ったのは、指導者や先輩からの指導のレベルの高さ、そして部活動の時間以外でも自主的に練習をする選手が多かったことも起因していると思われる。しかし団体戦においてのダブルスの戦術面の技術向上は来年度の総体までの各チームの課題であり、また1年生の基礎技術面やマナー面などもこれから一層の向上が期待される。また、男女ともに南部の学校の方が力が増している現状があり、北部・南部関係無く小笠地区全体のレベルの向上が求められる。

優勝作文（南部男子）

菊川市立菊川西中学校 坂口 晃輝

新チームになってからすぐにミーティングを行い、練習メニューも心機一転全て変えました。しかし、練習が始まりマイナスな発言が目立ったり、自分勝手な行動などチームとしてのまとまりがなかったりするなど、決して良い雰囲気とはいえませんでした。そこで、話を重ね、本番では代表としての自覚を持ち、良い意味でのプレッシャーを12人全員が感じ、いい雰囲気を作り出すことができました。

今回は南部優勝という結果を出すことができましたが、これからも試合は続くので、まだまだ満足はしてはいけないと感じています。団体メンバーだけではなく、部員全員で、チームとしての礼儀・マナーなども高め、より良い結果を出せるように、これからも練習を積み重ねていきます。

優勝作文（南部女子）

菊川市立菊川西中学校 大古田夢加

私たちの目標は、県大会に出場し1勝以上することです。しかし、新チームになってから挨拶の声が小さかったり移動が遅かったりして、練習時間が短くなってしまうことがありました。そこで、みんなで声を掛け合いながら挨拶の声を大きくし、移動をいつも以上に早くすることを確認しました。また、サーブからの3球目の攻撃など、自分に合った試合の進め方を1人1人研究しました。

部活動は学校生活の延長線上にあります。南部団体戦優勝という結果を受けて、目標に向かって努力する力が身に付いたと思います。これに満足することなく、これからの生活全てでチャレンジする気持ちを一人一人がもち、「地域に誇れる地域が誇れる菊西中」を作れるよう、部員一丸となって頑張ります。

優勝作文（北部男子）

掛川市立東中学校 倉島 佳佑

僕たち掛川東中男子卓球部は、「強い意志をもち、どんな困難にもくじけない」という意味の、「不撓不屈」をテーマに掲げ、経験者2人を中心に東海大会出場を目標として練習を頑張っています。新人戦北部大会では、大きな武器であるドライブを中心に自分達から先に攻めていく卓球を心がけて、接戦でも競り勝つことが多くありました。また、団体戦では、チームのために拍手やアドバイスを積極的にしていて、これもチームワークの良さの証だと思っています。

ただ、今の課題点としては、まだ練習で真剣さが足りていない、試合ではもったいないミスが多いということが挙げられます。それらを克服し、本当に「強いチーム」と言えるような学校にしていきたいです。そして、先輩方とは成し遂げられなかった東海大会出場を絶対に果たしたいです。

優勝作文（北部女子）

掛川市立西中学校 中嶋 美羽

私たちは、仲間と切磋琢磨しながら、日々練習を重ねてきました。サーブもフォアラリーもできなかった入部したばかりのころからは、考えられないほど全員上手になってきていると思います。これも、厳しくそして楽しく卓球を教えてくれた先輩や先生、コーチのおかげです。しかし、まだまだ私たちは力不足です。課題がたくさんあります。今回優勝できたのは、どこのチームより練習を一生懸命やっている、という自信があったからだと思います。これからも、少ない練習時間を大切にしていきたいです。

また、この先もっと強いチームと試合をしていかななくてはなりません。みんなで声を掛け合い団結力で勝っていきたいです。一つ一つの試合を悔いが残らないように全力でプレーしていこうと思います。南北戦でも、夏の大会でも優勝します。

柔道

総合体育大会

大会結果

団体戦 男子激励賞 浜岡中学校 (参加1チームのため県大会出場)

個人戦 (男子)

50 kg以下級	1 位 中谷 脩真 (桜が丘)	2 位 中山 舜也 (浜 岡)
55 kg以下級	激励賞 木村 幸愛 (浜 岡)	
66 kg以下級	1 位 小川 日和 (浜 岡)	2 位 中田 大季 (浜 岡)
81 kg以下級	激励賞 松下 敬 (菊川西)	
90 kg以下級	1 位 中村 謙信 (掛川北)	2 位 岩田 永遠 (浜 岡)
90 kg超級	激励賞 佐藤 優真 (浜 岡)	

個人戦 (女子)

44kg 以下級	1 位 荒木陽真理 (大 浜)	2 位 野田 小遥 (菊川西)
52 kg以下級	激励賞 平野 舞 (掛川東)	
57 kg以下級	激励賞 佐藤 美優 (浜 岡)	

大会寸評

御前崎市立浜岡中学校 佐藤 立樹

参加人数が減り、団体戦が行われなかったこともあり、実質2時間程度で大会が終了した。しかし、レベルが高く、白熱した試合が行われた。どの選手も県大会で十分対等に戦うことができる力を備えていると感じた。とくに昨年度も県大会出場を決めた中谷選手(桜が丘中学校)は、3年生となり技のキレや筋力も増し、県内でもトップレベルの選手であると感じた。なお、中谷選手は県大会決勝で惜しくも敗れたが、準優勝として東海大会出場を決めた。

優勝作文

御前崎市立浜岡中学校 岩田 永遠

浜岡中柔道部の3年生は男子2人、女子1人の3人しかいません。そんな中、2年生と1年生と力を合わせて日々練習をしてきました。去年は先輩たちが、県ベスト8を達成しました。私たちも県ベスト8以上を目標にしてきました。小笠代表として県大会に出場でき、とても嬉しかったです。コロナ渦で試合があまりなく、どこまで通じるかわかりませんが、集大成になるような試合にしたいです。

県大会では地区の大会と違い、県下トップの学校と試合をすることになります。県大会に向けて、「組んだらすぐに投げる」「最後まで技をかけきる」ということを意識して練習に取り組んできました。練習の最後には部内でチーム分けをし、団体戦をしたり、実際の試合を意識した練習をしたりしてきました。辛いときもありましたが、仲間とともに乗り越えてきました。県大会では、練習してきたように、自分のペースをつくりながら戦い、悔いの残らない試合をしたいと思います。

3年生は少ないですが、2年生と協力し、県大会までの時間を大切にしながら目標であるベスト8以上を目指して頑張りたいと思います。

陸上競技

総合体育大会

大会結果	【総合】	優勝	浜岡	準優勝	掛川北	3位	掛川東
	【男子】	優勝	掛川北	準優勝	浜岡	3位	菊川東
	【女子】	優勝	掛川東	準優勝	浜岡	3位	菊川西

大会寸評

御前崎市立浜岡中学校 鈴木 達

令和4年度小笠中学校総合体育大会陸上競技の部は、7月30日に小笠山運動公園エコパスタジアムで開催されました。本大会には、全国、東海大会出場を決めた男子共通100mの鈴木悠斗選手（掛川北中3年）、男子3年1500mの梁瀬伊織選手（菊川西中3年）、女子共通100mの松岡典子選手（掛川東中3年）、東海大会を決めた女子共通200mの藤田祐咲選手（浜岡中3年）、女子共通砲丸投の河原崎えな選手（浜岡中3年）、女子2年100mの大石真瑚選手（掛川北中2年）、男子低学年4×100mRの掛川西中と県大会等で活躍した多くの選手が出場しました。また、本大会では男子共通200mで鈴木悠斗選手が22秒80、男子共通4×100mRで掛川北中が44秒04、女子共通200mで松岡典子選手が25秒79と大会新記録を樹立する活躍もみられました。

運営面では、昨年度同様に新型コロナウイルス感染拡大防止対策に務めると共に熱中症対策をしながらの運営でした。その中で教職員や陸上競技協会等の方々に審判員として御尽力していただきました。また生徒たちは率先して準備や片付けを行い、全力で競技をする姿や仲間を拍手で応援する姿がみられました。課題としては、審判員の人数確保やルールを理解を深め、次大会へ向けて改善していきたいと思えます。

成績としては、総合の部で優勝した浜岡中は、男女共にトラック種目で多くの点数を獲得しました。男子の部、女子の部で優勝した掛川北中と掛川東中は、共に各種目全般に得点を獲得しました。

最後に、本大会が運営できたのも、当初より計画や準備に携わっていただきました諸先生方の御尽力と、大会当日に御協力して下さった各校の諸先生方や陸上競技協会等の方々のお陰であります。ここに記して厚く御礼申し上げます。

優勝作文（総合の部）

御前崎市立浜岡中学校 岡田 彩聖

昨年の小笠総体は、総合の部で準優勝という悔しい結果でした。今年こそは総合優勝しようと、目標を立て部活動に励みました。冬期練習は新型コロナウイルスの影響で部活動が中止になった期間がありました。再開時にもう1度、部の目標を確認し、動きづくりや走り込み等を徹底して取り組みました。そして、大会当日は2種目出場する生徒が多く、猛暑の中での大会でしたが、全員が競技や応援に全力で取り組み、総合優勝を勝ち取ることができました。最後の小笠総体で総合優勝を果たすことができ、とても嬉しかったです。これまで共に練習してきた仲間や支えてくれた人に感謝します。ありがとうございました。

優勝作文（男子の部）

掛川市立北中学校 佐藤 寛治

掛川北中学校陸上競技部は、総合優勝を目標に「準備や片付けを全員で行う」「練習と休憩のメリハリをつける」などの基本的な取組を見直し、日々の練習に励んできました。その成果もあり、一生懸命練習に励んだり、先輩が後輩に技術指導したりする姿も増え、チームの雰囲気も向上しました。当日はみんなで選手を応援し、チーム全体が1つになりました。3年生にとって最後の大会をみんなで楽しみ、かつ男子の部優勝という結果を手にすることができ、良い思い出になりました。僕はこの大会を通して、今までこの仲間と活動できて本当に良かったと思います。

優勝作文（女子の部）

掛川市立東中学校 松岡 典子

掛川東中学校陸上部は、男女ともに小笠総体3位を目標に頑張ってきました。東中陸上部はとても仲が良かったため、練習がきついても応援の声が絶えず、お互いにアドバイスできるととても良い雰囲気です。だから多くの方が自己ベストを更新し、より上の順位を狙えるようになりました。そして女子の目標は総合3位から総合優勝へと次第に変わっていきました。大会前日と当日、陸上部全員で円陣を組みました。今までで一番大きな声で力強い円陣になりました。円陣によって心が1つになり、それは大会の結果やみんなを応援する姿にも表れました。そして結果は女子の部優勝、総合の部でも3位になることができました。女子の優勝杯が運ばれてきたときは、みんなで喜び合い、最後にみんなと大切な思い出をつくることができました。この仲間たちと一緒に部活ができて本当に良かったです。今は大きな達成感でいっぱいです。

新人総合体育大会

大会結果 【男子】優勝 掛川西 準優勝 菊川西 3 位 浜岡
【女子】優勝 掛川東 準優勝 掛川北 3 位 菊川西

大会寸評

御前崎市立浜岡中学校 鈴木 達

令和4年度小笠新人陸上競技大会は、9月23日(金)に、小笠山運動公園エコパスタジアムで行われました。本大会は、陸上競技部顧問を中心に、各校教職員や小笠掛川陸上競技協会役員等の協力を得て運営し、全種目予定通り進行することができました。本年度も熱中症対策だけでなく、新型コロナウイルス感染拡大防止対策も講じました。選手同士が密集しないことや応援は拍手のみ等、様々な制限がある中、選手たちは競技に集中して取り組むことができました。今後も大会運営の仕方を随時見直し、より円滑な運営ができるように考えていきたいと思ひます。多くの支えもあり、無事大会を終えることができたことに誠に感謝します。御協力ありがとうございました。

競技結果については、学校対抗の男子の部では、短距離種目を中心に力を発揮した掛川西中学校が優勝、トラック種目で多くの点数を獲得した菊川西中学校が準優勝、全般的に点数を獲得した浜岡中学校が3位でした。女子の部では、総合的に力を発揮した掛川東中学校が優勝を果たしました。準優勝は、フィールド種目で多くの点数を獲得した掛川北中学校、3位は長距離種目で多くの点数を獲得した菊川西中学校でした。

来年度に向けて、本年度以上に多くの選手が西部大会を通過し、県大会や東海大会、そして全国大会へ出場を果たせるように小笠地区陸上競技部一丸となって競技力の向上を目指します。

優勝作文(男子の部)

掛川市立西中学校 横溝 大貴

“自分達で作っていく陸上部にしていこう。”私たちは声かけや声出しに力を入れ、準備や片付けを率先して行うことを意識して取り組みました。先輩が引退してからの部活動は、気が抜けている時が多々ありました。しかし、みんなで話し合ったり目標を立てたりしたことで、ドリルや流しの1本1本が質の良いものになり、大会に向けて努力する気持ちが強くなりました。また、応援の声や1年生が自ら準備や片付けをすることが増え、陸上部が一つになるのを感じました。大会当日、みんなが自信に満ち溢れていて、最高の状態でプレーできたと思ひます。今回小笠新人戦男子優勝を取ることができたのは、練習の姿勢や努力の積み重ねが繋がったからだと思ひます。この経験を活かし、部活動や大会に励んでいきたいです。そして、みんなから認められ、応援される部活動にできるように、切磋琢磨し頑張っていきたいと思ひます。いつも応援して下さった先生方、保護者の皆様、ありがとうございました。

優勝作文(女子の部)

掛川市立東中学校 橋口 咲空

私たち掛川市立東中学校陸上競技部は「中体連小笠大会で男女総合優勝」を目指し、「青雲之志」を合言葉に、日々の部活動に取り組んでいます。この目標を達成するために私たちは「基本動作」に注目しました。基本動作を行うときは集中し、ひとつひとつの動作をていねいに行いました。部員同士で声をかけあったり、ミーティングのときに改善点を話しあったりして、部員全員が集中して練習に取り組めるような部活動にできるよう考えました。自分だけでなく、仲間のことも考えて部活動に真剣に取り組んできた結果が今回の「新人総合体育大会女子団体優勝」につながったのだと思ひます。今よりももっと陸上部を盛り上げ、部員だけでなく学校の先生方や地域の方からも応援される掛川東中の陸上部にしていきたいです。そして、その応援をパワーに変え、「中体連小笠大会」では、「男女総合優勝」という目標を達成します。

令和4年度 小笠地区中学校新人陸上競技大会

2022年9月23日 エコパスタジアム

男子 1位 2位 3位 4位 5位 6位. Table with columns for rank, name, school, time, and medal. Includes 100m, 200m, 400m, 800m, 1500m, 5000m, 10000m, and 20000m events.

◎は大大会記録, ○は大大会タイ記録

女子

女子 1位 2位 3位 4位 5位 6位. Table with columns for rank, name, school, time, and medal. Includes 100m, 200m, 400m, 800m, 1500m, 5000m, 10000m, and 20000m events.

◎は大会記録, ○は大大会タイ記録

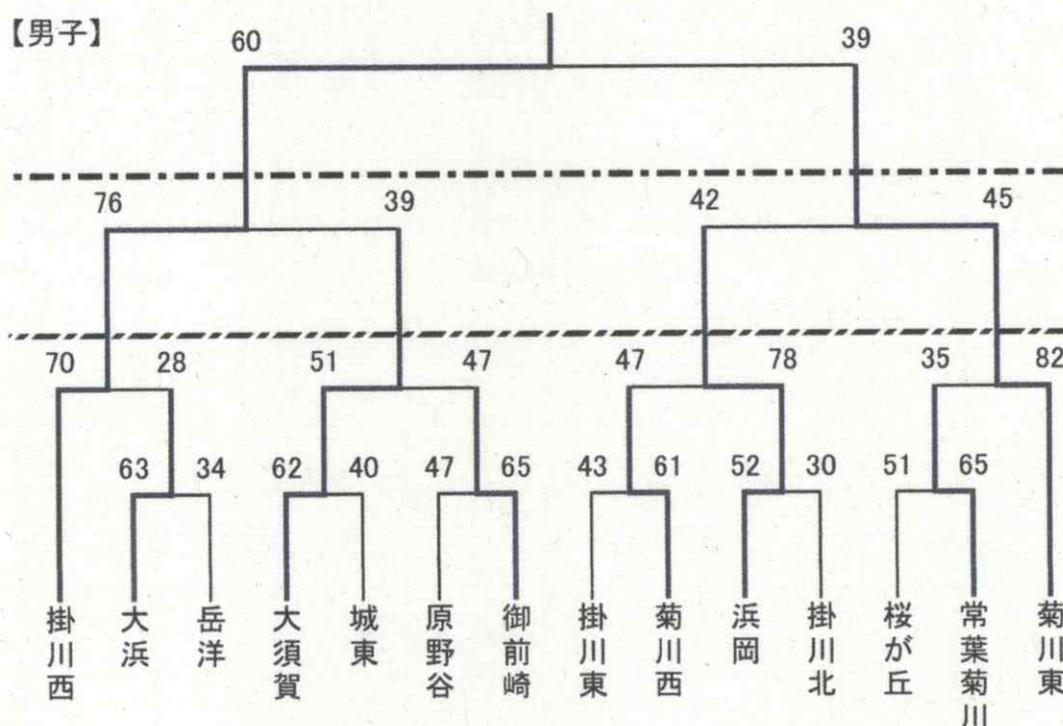
学校対抗

Table showing school rankings for boys (男子) and girls (女子) across three medal categories: 優勝 (Champion), 準優勝 (Runner-up), and 第3位 (3rd Place).

バスケットボール

総合体育大会（男子）

<決勝トーナメント>



大会結果 優勝 掛川西 準優勝 菊川東 3位 大須賀、浜岡

大会寸評

菊川市立菊川東中学校 杉山 大河

決勝には第1シードの掛川西、第2シードの菊川東の対戦となった。第1Q、シュートブロックからの速攻で菊川東が先制。菊川東は#6のファールトラブルがあったものの、いいディフェンスを見せていた。掛川西はドライブからのシュートを中心に攻めるもなかなか点が入らず、12-7と菊川東リードで第2Qに入る。第2Q、菊川東のパスミスやアウトオブバウンズが増えていった。掛川西は菊川東のミスを見逃さず、チームオフェンスで点を重ね、25-23と掛川西が2点リードで前半が終了。第3Q、菊川東は後半に入り攻撃のリズムが崩れ、ディフェンスも足が止まってしまった。掛川西は前半より更にペースを上げて攻撃を仕掛け、41-28と13点リードで第4Qに入る。第4Q前半菊川東のペースでゲームを運ぶも後半には失速してしまい、60-39で掛川西が優勝を飾った。両チームとも全力で戦った好ゲームであった。

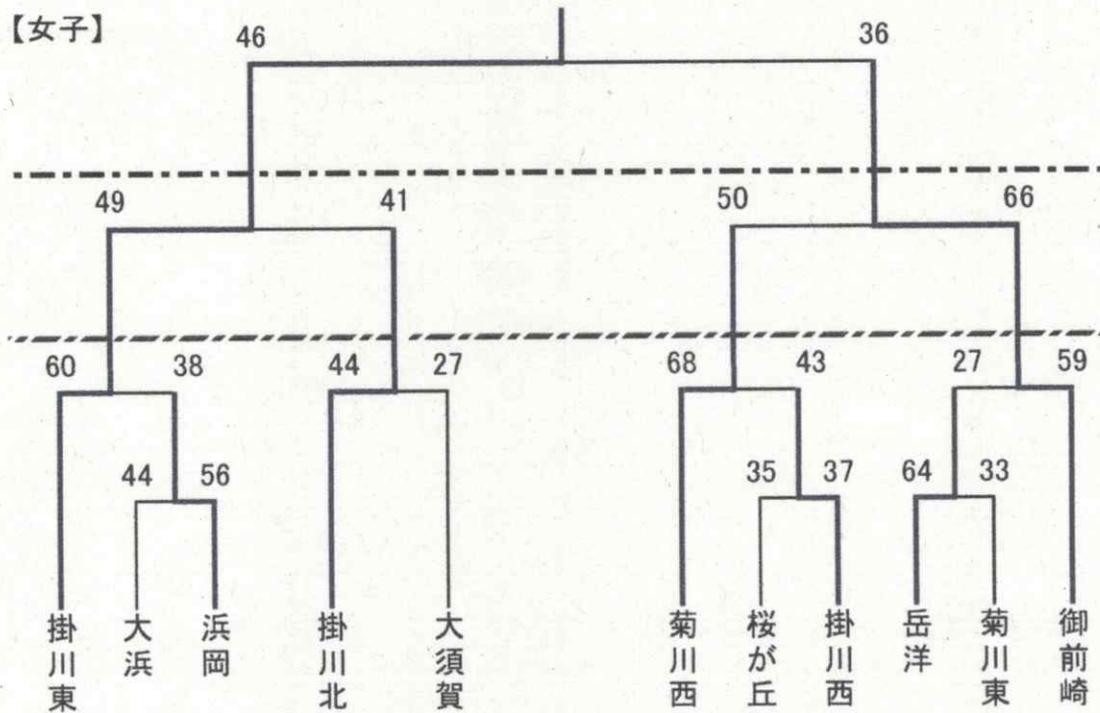
優勝作文

掛川市立西中学校 生田 魁星

僕たちは小笠制覇、県ベスト8を目標に活動してきました。この一年間は特に質の高い練習をするためにチーム内で声を掛け合い、日々の練習に全力で取り組みました。そして、体力的にも精神的にも厳しい練習を重ねてきました。その努力が実を結び、今大会では目標の1つである小笠制覇を達成することができました。後輩、保護者の方、先生方、全ての方の支えと応援があって優勝することができました。応援してくださった方々に、勝利という形で恩返しをすることができてよかったです。県大会でも、小笠1位の自信とプライドをもってプレーし、チームメイトとできる残り少ない試合を全力で楽しみたいと思います。そして、必ず勝利を掴みます。

総合体育大会 (女子)

<決勝トーナメント>



大会結果 優勝 掛川東 準優勝 御前崎 3位 掛川北、菊川西

大会寸評

学校組合立御前崎中学校 伊東 優悟

今大会も昨年に引き続きトーナメント形式での開催となった。どのチームも日々積み重ねてきた成果を存分に発揮し、特に準決勝・決勝では僅差のゲームが繰り広げられた。特に、準決勝（掛川東 vs 掛川北）では、掛川北が優勝候補の掛川東に対して、掛川東#1の力強いドライブを防ぎ、外からのシュートを打たざるを得ない試合展開に持ち込んだ。両チームとも持ち味を發揮し互角の展開が続いたが、掛川東#7の3ポイントが入り始め、試合展開が掛川東に傾き、8点差で逃げ切った。もう一方の準決勝（菊川西 vs 御前崎）では、菊川西#2#3の双子ペアの活躍が輝いた。菊川西の50得点中2人で30得点を決める猛攻を見せた。試合は全体的に互角の様相を呈していたが、序盤に4本の3ポイントを決めた御前崎がリードを守り抜き試合を制した。

決勝戦では、外からの攻めを得意とする御前崎と、バランスの取れた攻めを持ち味とする掛川東の戦いとなった。序盤は、掛川東が#7の多彩な攻撃で先制する形となった。スクリーンアウトを徹底し、オフェンス・ディフェンスともにリバウンドを制した掛川東が順調に得点を重ね、前半を26-13で折り返した。後半は、御前崎#6、#7が持ち味の3ポイントを決め始めたが、追い上げも叶わず攻守ともに安定した掛川東が栄冠に輝いた。

優勝作文

掛川市立東中学校 原田 りの

私たちは、県ベスト8という目標を掲げ、「信頼される人・チーム」になるために、この1年間練習に取り組んできました。日々の練習では、どの部活よりも早く始めることや、1つ1つのことに全力で取り組むことをがんばってきました。小笠総体では、コートの中の5人だけではなく、ベンチメンバーも声を出し、全員で団結して優勝することができました。

県総体では、掛川東中らしいバスケットで、1秒でも長く自分たちの時間帯をつくり、目標の県ベスト8を達成します。そして、いつも支えてくれた保護者の皆様、先生方に恩返しができるように全員でがんばりたいです。

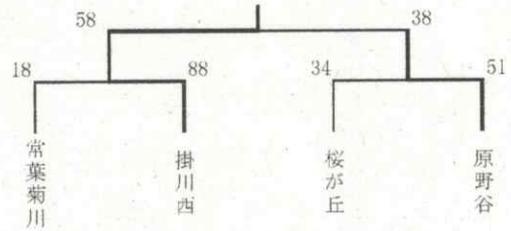
新人総合体育大会（北部男子）

〈北部〉【男子】

予選リーグ

ア	掛川北	常葉菊川	桜が丘
掛川北		31-61	38-62
常葉菊川	61-31		50-48
桜が丘	62-38	48-50	
イ	掛川西	掛川東	原野谷
掛川西		68-27	48-49
掛川東	27-68		46-52
原野谷	49-48	52-46	

決勝トーナメント



大会結果 **優勝 掛川西 準優勝 原野谷 3位 常葉菊川、桜が丘**

大会寸評

常葉大学附属菊川中学校 遠藤 一真

今大会の決勝戦は、予選リーグで1点差の好ゲームを繰り広げた原野谷と掛川西の対戦となった。序盤から#4、#5、#6のリバウンドでシュートチャンスを広げ得点を重ねる掛川西に対し、#10の高さを活かしたプレイと、#11、#12のミドルレンジなどで得点を重ねた原野谷だった。ディフェンスリバウンドからの速攻で確実に得点を重ねた掛川西が、リードを広げ、36対12で前半を終了した。第3クォーター、反撃の糸口を見出したい原野谷は、#25のミドルレンジや#12のドライブで点差を縮めたが、第4クォーター、開始早々#6のバスケットカウントとレイアップで勢いに乗った掛川西は、その後も得点を重ねた。原野谷は#12、#30の個人技を中心に果敢に攻め続けるも、掛川西も攻撃の手を緩めず、58対38で掛川西が勝利し、予選リーグでの雪辱を果たしての優勝となった。

優勝作文

掛川市立西中学校 山本 正人

この新人戦を通して、チームとしても自分としても成長できたと思います。技術面はもちろん、気持ちの面で、相手に対して怯まず向かっていくことができるようになりました。予選リーグでは、接戦をものにできず、1点差で負けてしまいました。しかし、その悔しさをばねに、決勝ではチーム一丸となって戦い、優勝することができました。これまで支えてくださった保護者の方や先生方に、結果で恩返しをすることができたと思います。All for all…みんなはみんなのために。という合言葉を胸に、これからも西中バスケの質を高めて、夏の小笠総体優勝に向けて、成長していきたいです。

新人総合体育大会（北部女子）

【女子】

	掛川西	掛川東	桜が丘	掛川北
掛川西		23-47	52-34	32-49
掛川東	47-23		70-32	57-28
桜が丘	34-52	32-70		18-74
掛川北	49-32	28-57	74-18	

大会結果 **優勝 掛川東 準優勝・掛川北**

大会寸評

掛川市立西中学校 鈴木 智也

今大会で優勝をしたのは、ドライブとアウトサイドシュートを得意とする掛川東であった。特に#1の活躍が目立った。そのほかの選手も#1のドライブに合わせ、フリーのシュートを確実に決めたり、全員でリバウンドに飛び込んだりする姿が見られた。それに対して、相手チームも最後まで諦めず、戦い続けた。試合後には悔し涙を流した選手もあり、そういった選手がこれから実力を伸ばし成長することを期待する。また掛川北#4#5をはじめ、どのチームも中心となるエースプレイヤーが試合を引っ張った大会であった。

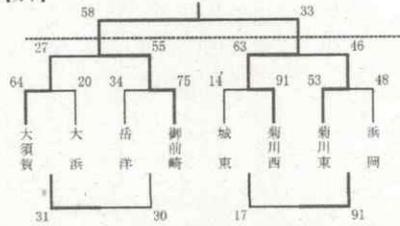
優勝作文

掛川市立東中学校 馨 菜々子

新人戦で優勝し、短期目標を達成できてとても嬉しかったです。東中女子バスケ部のチーム理念は「信頼される人、チームになる」です。部員は7人しかいませんが、挨拶などの当たり前のことを頑張るよう心がけています。また、私たちはチームディフェンスからブレイクを出すバスケットボールを目指しています。今回の大会で、ブレイクを出さることができた場面もありましたが、改善点も多くあったので練習を通して修正していきたいです。今回の結果は、自分たちだけでとることができたわけではありません。応援してくださる人たちへの恩返しのためにも、これからの目標に向けて、日々努力をしていきます。

新人総合体育大会 (南部男子)

(南部)【男子】



大会結果 優勝 御前崎 準優勝 菊川西 3位 大須賀、菊川東

大会寸評

菊川市立菊川西中学校 植田健太郎

昨年度、一年生大会が中止となったため、各チーム初めて対戦する相手が多く、緊張感のある大会となった。決勝は御前崎と菊川西との対戦となり、前半は1ゴール差で御前崎がリードした。次第に御前崎#30のスリーポイントが決まりだし、御前崎がリズムをつかむ。菊川西も#0のドライブで流れを引き戻そうとするが、3Qからは御前崎のディフェンスが効果的に攻撃を押さえ、菊川西に得点の機会を与えなかった。また、#66の粘り強いリバウンド、#26のドライブが決まり、御前崎が主導権を握る。菊川西も#7、#13のシュートで巻き返しを図るが、着実に得点を重ねた御前崎が優勝を飾った。

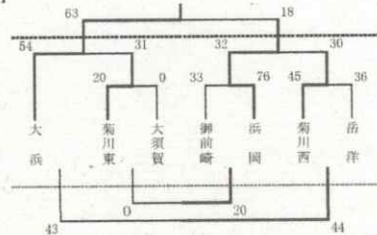
優勝作文

学校組合立御前崎中学校 清水 康喜

新人戦では、オフェンスについて一人ひとりが積極的に1対1をすることを意識しました。ディフェンスでは1線2線の位置、ディレクションでできるだけ相手についていくことや、ヘルプで捕まえることを意識しました。他にもディナイを厳しくし45度の位置でボールを持たせないことなど、チームとして特にディフェンスに力を入れてきました。課題点としては、オフェンスの中でシュートが落ちる場面が多いことがあげられます。そのため西部新人大会に向けて今のディフェンス力を保ちつつオフェンスのシュート率を高めていきたいと思えます。

新人総合体育大会 (南部女子)

【女子】



大会結果 優勝 大浜 準優勝 浜岡 3位 菊川東、菊川西

大会寸評

菊川市立菊川西中学校 大芝 祐至

本大会はどのチームも夏休みの練習の成果を発揮しようと一生懸命プレーする姿が見られた。その中でも#4と#9を中心としたパス回しからの攻撃で得点を重ねた大浜中が優勝を手にした。高いディフェンス力や高さを活かしたリバウンドで、他を寄せ付けなかった。しかし、ボールを奪ってから速攻が持ち味の浜岡中など、多くのチームが自分達のプレーを見せ、今後更に練習を重ね、ますます成長していくことを期待できるような大会となった。

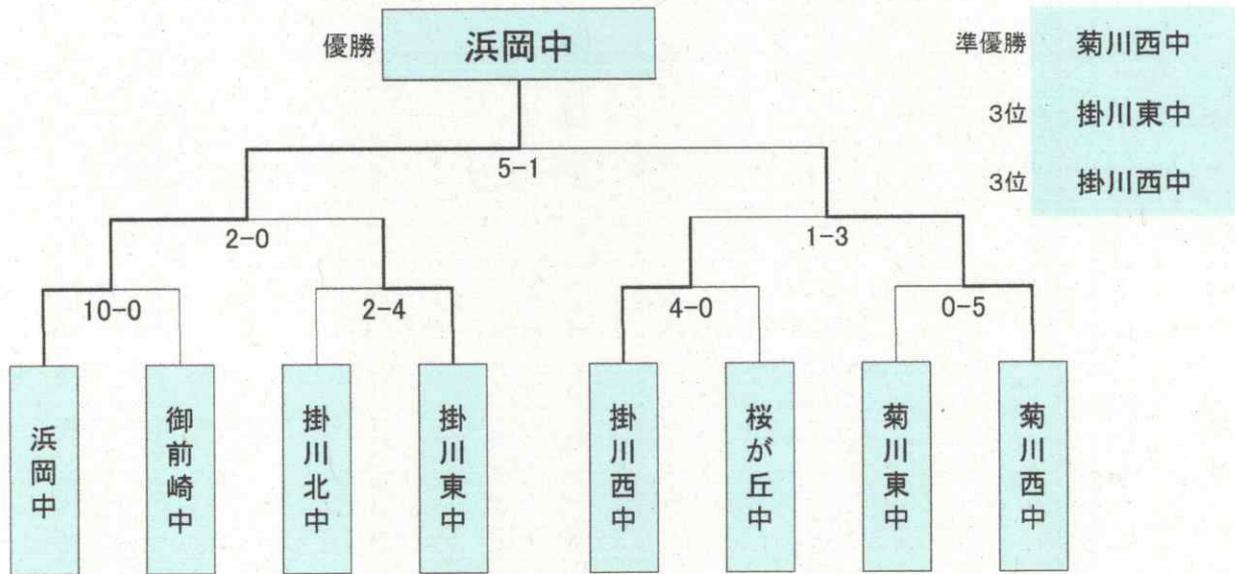
優勝作文

掛川市立大浜中学校 佐藤あや香

3年生が引退して新チームでの活動となり、ディフェンスの強化をしてきました。ディフェンスでの大切なことの3つ「ポジション」「ビジョン」「トーク」を大切にして練習してきました。新人戦ではチーム一丸となり、優勝する事が出来ましたが、今回の大会で見つかった課題もたくさんあります。顧問の先生やコーチに聞いたり、チームメイトとコミュニケーションをとったりして改善していきたいです。そして、バスケができる環境、保護者、先生方に感謝して日々の練習に取り組んでいきます。

サッカー

総合体育大会



大会結果 優勝 浜岡 準優勝 菊川西 3位 掛川東、掛川西

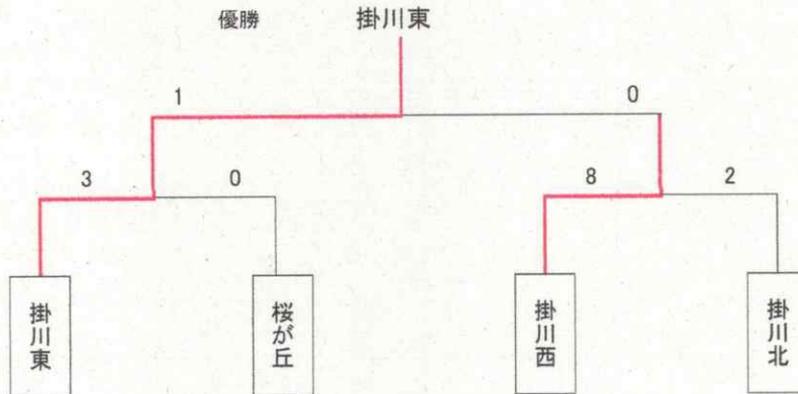
大会寸評

御前崎市立浜岡中学校 山本 哲也

小笠地区のサッカーとマナーのレベルが上がり、技術とチームワークが上がっているチームが多くあった。どのチームもあいさつや準備・片付けなど進んで行う姿が目立った。1回戦では、浜岡中、掛川東中、掛川西中、菊川西中のシード校が勝利をした。どのチームも最後まで粘り強く戦う姿が印象的だった。また、勝ったチームも負けたチームも最後のあいさつまで全員が大きな声で行う姿が印象的だった。準決勝では、浜岡中と菊川西中が勝利した。浜岡中は、ドリブルを多く使い、相手をかかわしたり抜いたりして、浜岡中ペースをつくった。前半始まってすぐに相手の裏に抜け出し、2点を立て続けに奪った浜岡中が勝利した。掛川東中は、堅い守備と精度のあるロングパス、そしてキープ力のあるフォワードを起点にゴールを狙ったが、点を決めることができなかった。最後のコーナーキックでは、1年間考え、練習してきたトリックプレーでシュートをしたがゴールは奪えなかった。掛川西中は、サイドからドリブルで仕掛け、チャンスをつくった。スピードと体格のよさを生かした勢いのある攻撃で、掛川西中がゴールを奪った。菊川西中は、先制点を奪われたが、ドリブルと繋ぐサッカーをしていくことで菊川西中ペースになり、フリーキックからヘディングで押し込み、後半のラストワンプレーで同点に追いついた。延長では、掛川西中の疲れも見え、菊川西中が2点を奪い3-1で勝利した。決勝戦では、浜岡中と菊川西中との技術力のある2チームの試合になった。どちらもドリブルを生かした攻撃が多く見られた。両者ともにゴールへ向かう姿が多くあった。先制点は、浜岡中であつた。サイドからのロングシュートがポストに当たり、そのままゴールに吸い込まれた。そして、後半に入り、コーナーキックから立て続けにゴールを奪い、チャンスを確実に生かした浜岡中が、5-1で勝利した。

6月25日。会場に鳴り響くホイッスルとともに、僕たちに残された最後の大きな大会が始まった。今から2年前の春に、浜岡中サッカー部に入部をした。最初は、新しい事がたくさんあり、不安もあったが、先輩のサポートもあり、不安がなくなりました。僕たちにとって、はじめての大会である1年生大会では、チームとしてのまとまりがなく、1回戦で負けてしまった。僕たちは、この大会でもっと強くなりたいと強く感じた。先輩が引退し、僕たちがサッカー部の中心となった。そして、サッカー部の目標を全員で話し合っただけで決めた。それは、先輩が達成できなかった「東海大会出場」である。最高の指導者3人と出会い、日々の練習で成長することができ、2年生では新人戦サッカー大会で、県大会に出場することができた。練習や試合で自分自身や仲間同士でたくさんの壁にぶつかり乗り越えてきた。練習では、自分たちがやりたいことを先生と話し、練習で取り入れながら、練習をできたことでチームが1つにまとまっていった。僕たちが成長したことは、サッカーだけではなく、人間性でも成長できた。誰にでも気持ちのよいあいさつや目を見て話の聞くこと、荷物の置き方など小さなことでも大事にしてきた。この2年で成長してきたことを、すべてぶつけることを意識して中体連に臨んだ。初戦の御前崎戦では緊張や焦りもあり、うまくいかなかった。2回戦目の掛川東戦では、チームで話し合いをすることで課題の解決をし、自分たちらしく戦うことができた。そして、決勝では前半は苦しい状況が続いたが、前半終了間際にロングシュートでゴールを奪うことができ、後半では自分たちのペースにもっていくことができ、優勝することができた。県大会でも勝ち進んで東海大会目指して頑張ります。

新人総総合体育大会（北部）



大会結果 優勝 掛川東 準優勝 掛川西

大会寸評

掛川市立桜が丘中学校 溝垣 駿

掛川東中学校の優勝、掛川西中学校が準優勝という結果であった。1回戦の掛川西中対掛川北中の試合は、掛川西中が速い攻撃から大量得点を奪った。掛川北中も粘りを見せて2得点を返したが、掛川西中が勝利を収めた。桜が丘中対掛川東中は、掛川東中がセットプレーから2得点を挙げて試合を優位に進めた。後半、桜が丘中が何度もチャンスを作るが、カウンターから掛川東中が追加点を奪って勝利した。決勝戦は、早い時間帯に掛川東中が先制点を奪った。掛川西中も多くのチャンスを作るも得点を奪うことができず、掛川東中が優勝を飾った。

各チーム、止める・蹴るなどの基礎基本の練習に時間をかけてきたことが、試合から感じられた。小笠地区の今後は、試合の状況を把握し、最適な判断をすることができる選手、基本的な技術を試合の状況に合わせて使い分けることができる選手を育てていきたいと思っている。

今後、互いに研鑽を重ね、小笠・掛川地区から、県大会で上位に進出できるチームが出てきてほしいと思う。

優勝作文

掛川市立東中学校 石川 瑠輝

3年生が引退してから、「小笠制覇」を目標に練習に取り組んできました。僕は部長になり、限られている練習時間を無駄にしないよう、移動を走ったり、高い質での練習をしたりすることを意識しました。高い質で練習をするために、一つ一つの練習で声を出し、全力で取り組みました。このようなことを続けたことで自信ができました。

試合当日、全員が最後まで走り切ることができ、北部で優勝することができました。しかし、南北戦では菊川西中学校に負けてしまい、もっと強くなりたい！と思いました。目標の小笠制覇を達成するために、新人戦で出た課題を全員で1つずつクリアし、ホンダカップ、中体連小笠大会に臨みたいです。

最後に、応援やサポートをしてくださった、先生方、保護者の皆様、ありがとうございました。これからも、応援やサポートよろしくお願いします。

新人総合体育大会（南部）

	菊川西中	菊川東中	浜岡中
菊川西中		11 - 0	0 - 0
菊川東中	0 - 11		1 - 5
浜岡中	0 - 0	5 - 1	

大会結果 優勝 菊川西 準優勝 浜岡

大会寸評

御前崎市立浜岡中学校 山本 哲也

今年度は御前崎中の部員が6人となり、出場ができなかった。3チーム（浜岡中、菊川西中、菊川東中）のリーグ戦を行った。菊川西中と菊川東中の初戦は、攻撃力が出た菊川西中が11-0と大差がついた。1年生大会の時に県大会ベスト4の実力が出た試合だった。また、技術力とテンポのよいボール回しで相手を崩して得点を決めるシーンが多く、レベルの高さが目立った。菊川東中と浜岡中は、1-5で浜岡中の勝利となった。前半は浜岡中が1点を決め、終了間際に気迫のシュートで菊川東中が1を返し、同点で前半を折り返したが、後半は一試合目で体力的に有利だった浜岡中が後半4点を取り、試合が終了した。3試合目の菊川西中と浜岡中の試合は、0-0の同点で終わった。どちらも気持ちの入ったプレーが続いたが、どちらもシュートを決めることができず、0-0となり、得失点差で菊川西中が優勝した。

優勝作文

菊川市菊川西中学校 福島 瑞人

私たちチームの目標は県大会ベスト4です。新人戦はその中の過程であり通過点です。その通過点を超えていくために私たちは普段の生活から力を入れるようにしています。挨拶はもちろんのこと、コートでの準備なども積極的に行いました。普段から、自分で気づき行動することで、試合でも周りを見ることができました。

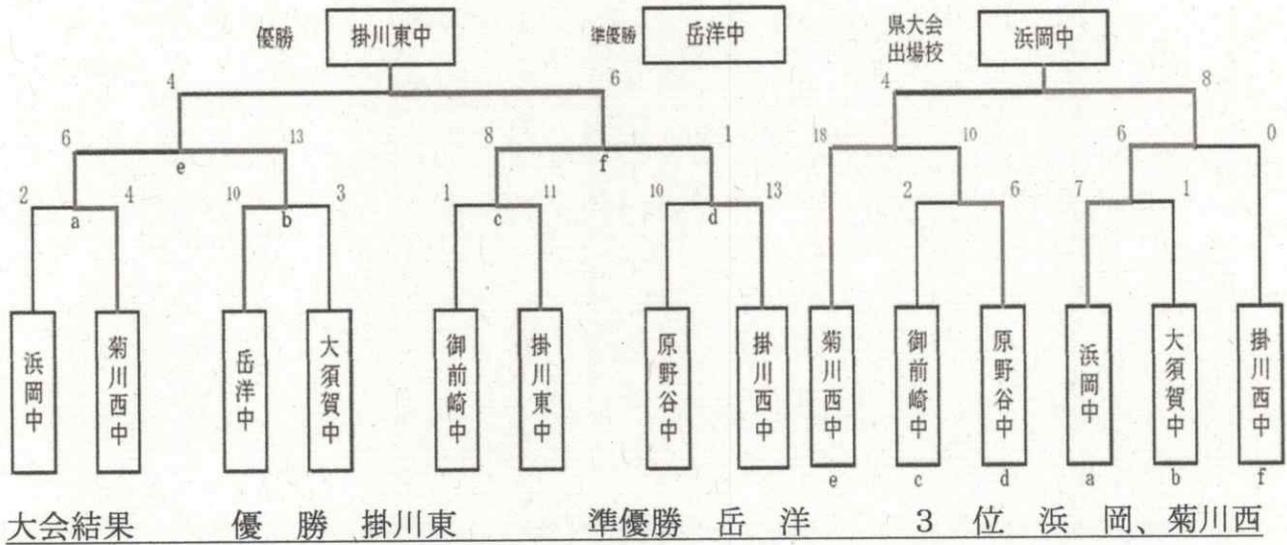
そして、1試合目の菊川東中戦では序盤から流れを掴むことができ、11対0で勝つことができました。しかし、ドリブルに対するカバーリングやロングボールの精度などさまざまな課題も浮かび上がってきました。また、試合と試合の間には、1試合目に勝ったからといってチーム全体に気の緩みを感じられ、ふざけてしまう部員がいました。ここで気を引き締めないといけないのですが、できませんでした。これは、これからのチームの課題です。

2試合目の浜岡中戦では試合の入りが悪くなってしまい、なかなかゴールに向かえず苦しんでしまいました。後半は、全員が前に向かう姿勢が出てきましたが、ゴールを決めることができず0対0で終わってしまいました。シュートの精度にまだまだ課題が残るので、今後の練習で改善していきます。

今後は新人戦の優勝をバネにして、チーム全体の士気を上げ、雰囲気は今まで以上に良くしていきたいです。ホンダカップでは、県大会の切符をつかんで、目標の県大会ベスト4に近づいていきます。

ソフトボール

総合体育大会



大会寸評

菊川市立岳洋中学校 水元 湧士

優勝した掛川東中学校は、ノーシードながら、バッテリーを中心とした堅実な守りと、切れ目のない打線で得点を重ね、相手チームを圧倒した。また、チャンスやピンチの場面での集中力が非常に高く、流れを引き寄せるプレーが光った。準優勝した岳洋中学校は、チーム一丸となって声を出し、全員で懸命に試合に取り組んだ。鍛え上げられた守備、走塁と、積極的なバッティングで準優勝を掴み取った。3位の浜岡中学校は、高い投手力で、相手に得点を許さず、試合を優位に進めた。また、豪快なスイングで長打を量産し、レベルの高い打撃を発揮した。

今大会に出場するにあたって、どのチームも昨年度から大きく成長した姿が見られた。練習や練習試合に熱心に取り組んだ成果である。また、生徒の態度は大変素晴らしく、競技中の全力プレーはもちろん、あいさつやグラウンド整備なども丁寧であり、どの学校もグッドマナー賞に値する姿であった。

優勝作文

掛川市立東中学校 金田 芽依

私たちは「東海大会・全国大会へ出場」という新しい目標を立てました。理由は、この夏の小笠総体で優勝できたからです。私たちはこの大会で「私たちの課題」を一つ越えることができたと感じています。それは、自分たちが「自立する」ということです。コロナ禍で練習などが満足にできなかったことも影響したと思いますが、4月から私たちは「いい試合」をすることができませんでした。特に5月の白百合杯では「自分たちに負けた」という苦い経験をしました。「何が足りないのか？」私たちはその答えを見つけるため、今まで以上にコミュニケーションをとり、意見を伝え合うようにしました。しかしすぐには結果が出ず、もどかしい日々が続きました。大変辛かったです。それでも、中体連では必ず集大成をみせようと全員で決意し、大会に挑みました。岳洋中との決勝戦では先制点を許すなど、苦しい局面も多有りました。しかし、みんなで考えてきたことがしっかりしていたから、優勝できたのだと思います。

まだまだ道半ばではありますが、私たちがここまで頑張れたのは、先生方、コーチ、父母会の皆さんのおかげです。本当にありがとうございました。これからも頑張ります。

新人総合体育大会（北部）

<リーグ戦結果>

	1 掛川東	2 原野谷	3 掛川西	4 桜が丘	勝	負	順位
1 掛川東		○ 7 - 4	○ 10 - 2	● 1 - 8	2	1	2
2 原野谷	● 4 - 7		● 0 - 2	● 2 - 9	0	3	4
3 掛川西	● 2 - 10	○ 2 - 0		● 0 - 8	1	2	3
4 桜が丘	○ 8 - 1	○ 9 - 2	○ 8 - 0		3	0	1

大会結果 優勝 桜が丘 準優勝 掛川東

大会寸評

掛川市立原野谷中学校 渡辺淳之助

4チームでリーグ戦を行った。優勝した桜が丘中学校は、力強い打線で得点を重ねると共に、3試合を通じて3失点の堅実な守備で勝利をものにした。

準優勝した掛川東中学校は、経験のある2年生を中心にチームを引っ張り、チャンスを逃さず着実に点数を重ねた。

どのチームも人数が多いとは言えず、中学校から始めた選手も多い中、新チームとなったとは思えないほどレベルが高かった。しかし、細かなルールや走塁面など、これから改善しなければいけない点が多くある。

西部大会や県大会で小笠地区の代表として勝ち抜けていけるかどうかは、今後の練習の質をどれだけ上げているかどうかにかかっている。

優勝作文

掛川市立桜が丘中学校 荒川 結愛

3年生が引退してから初めての公式戦でした。どのような試合になっていくかすごく不安だったけれど、練習の成果が出せたのではないかなと思います。納得のいかないプレーやミスはたくさんありましたが、優勝できたのは本当に良かったです。試合でのミスは、西部地区新人戦に向けての練習の中でできるだけ多く克服し、県大会に行けるようにしたいです。一人ひとり違う課題があるので、克服できるように自分自身に負けないで練習に積極的に取り組むようにしたいです。また試合で良かったことはそのまま生かしたいと思います。このチームは一人ひとり個性があり、周りを見ることができるので、試合では周りを見ながらできていたと思います。これからもチームで力を合わせて頑張っていきたいです。チームの目標である県制覇ができるよう、これからの練習に生かしていきたいと思います。みんなの期待に応えられるような部活動にしていきたいです。

新人総合体育大会（南部）

<リーグ戦結果>

	1 大須賀	2 菊川西	3 岳洋・浜岡	勝	負	順位
1 大須賀		● 0 - 10	● 4 - 6	0	2	3
2 菊川西	○ 10 - 0		○ 4 - 1	2	0	1
3 岳洋・浜岡	○ 6 - 4	● 1 - 4		1	1	2

大会結果 優勝 菊川西 準優勝 岳洋・浜岡 3位 大須賀

大会寸評

菊川市立岳洋中学校 水元 湧士

大会は3チームのリーグ戦で行われた。優勝した菊川西中は、1年生エースを中心に、高い投手力、守備力で安定して試合運び、勝利を掴んだ。特に、岳洋・浜岡戦では、球威のあるストレートをコーナーに投げ込み、圧倒的なピッチングをした。打撃では、ヒットをつなぎ、得点を重ねた。2位の岳洋・浜岡は、合同チームながらも、互いに協力して試合に取り組んだ。大須賀は、敗れはしたが、どのチームよりもひたむきに全力でプレーし、粘り強く戦った。高いチーム力を発揮し、今後の成長が非常に楽しみである。

今回の大会は、部員不足により、合同チームや残念ながら出場辞退したチームがあり、昨年より2チーム少ない3チームであった。しかし、どのチームも、ソフトボールができる喜びを感じながら、一生懸命に取り組んでいた。また、新チームとなって練習期間が短い中ではあるが、攻撃、守備ともにハイレベルで、終盤まで均衡した試合が多かった。これから練習試合や合同練習などを通して互いに切磋琢磨して、小笠地区の上位大会での活躍を期待する。

優勝作文

菊川市立菊川西中学校 堀川 優花

3年生が引退し、2年生2人、1年生7人で新チームが始動しました。

昨年は大会が開催されず先輩方が出場できなかった分私たちが精一杯戦おうと決意し、練習に励みました。

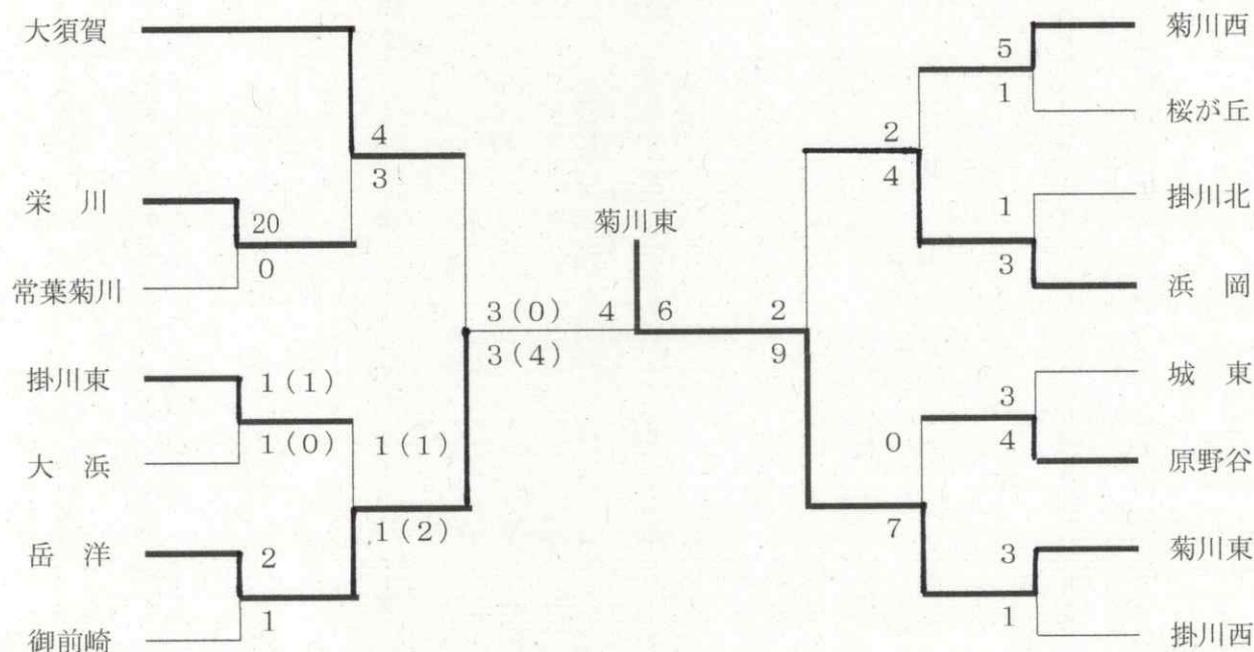
しかし、天候不良によりグラウンドを使つての練習があまりできませんでした。また、未経験者がチームの半数を占めているため、他校との練習試合や合同練習で実践的な動きを覚え失敗を重ねて少しずつ力をつけてきました。

新人戦では、ピッチャーだけに頼らず内野も外野もきちんと守って一つずつアウトをとりました。また、走塁でも練習した成果を出すことができました。試合をやる中で上達していくことを自分たちで感じました。

これから一人一人の技術をさらに高め、チームの課題である声掛けを意識しながら次の大会でも頑張ります。いつも応援して下さる保護者の方々への感謝の気持ちを常にもち、ソフトボールに対してひたむきに取り込んでいきます。ありがとうございました。

軟式野球

総合体育大会



大会結果 優勝 菊川東 準優勝 岳洋 3位 大須賀、浜岡

大会寸評

菊川市立菊川東中学校 杉山 優

はじめに、新型コロナウイルス感染症の影響で、本大会も開催にあたっての様々な配慮がなされたなかで無事に大会を終えることができ、各方面からの支援に感謝申し上げたい。

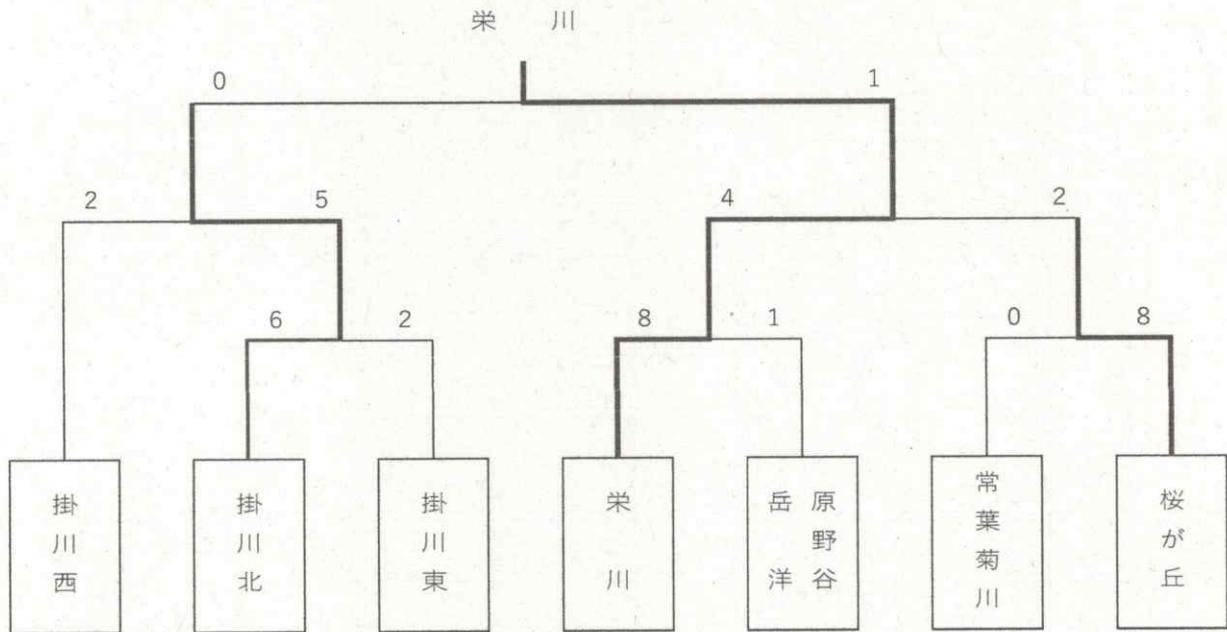
大会では、コロナ禍による活動制限や部員数減少の影響から、選手の技能やモチベーションにこれまで以上の差を感じる場面が見られた。しかし、どのチーム・選手も、一球に思いを込め、決して投げやりになることも無く、1つ1つのプレーを自身の成長の糧にしていたように感じた。これも一重に、選手それぞれに最適な目標設定や活動強度が施された日々の部活運営の賜であると思う。その上で、優勝した菊川市立菊川東中学校は、日頃から、細部にまでこだわりをもった生活を送る選手の割合が高く、心身ともに研ぎ澄まされたチーム状態で大会に臨み、頂点まで勝ち上がった。それはまさに、野球を通して自分を成長させる姿であり、今後の小笠地区中学野球レベルの向上に大きな影響を与えてくれたように思う。

優勝作文

菊川市立菊川東中学校 樽松 智大

自分たち菊川東中野球部は決して能力が高い選手が集まっているわけではありません。打つ力、投げる力、走る力、そのどれもが他のチームと比べて優れているわけではありません。しかし、野球は「能力」だけでやるものではありません。「頭とハート」を使うことで力のないチームでも勝つことができます。先を読み、確認をして準備をする。相手が考えていることを予想してプレーに繋げる。自分が弱気になっていることを受け入れ、やるべきことに集中する。1つ1つの小さな結果にとらわれず、目の前のできることを積み重ねる。これが、自分たちが大切にしてきたことです。目の前の1試合を大切に、2年半やってきたことをコツコツとやった結果、2年連続で優勝することができました。自分たちがやってきた野球に誇りを持ちこれからも精進していきたいです。

新人総合体育大会（北部）



大会結果 優勝 栄川 準優勝 掛川北 3位 掛川西、桜が丘

大会寸評

掛川市立北中学校 大石 北斗

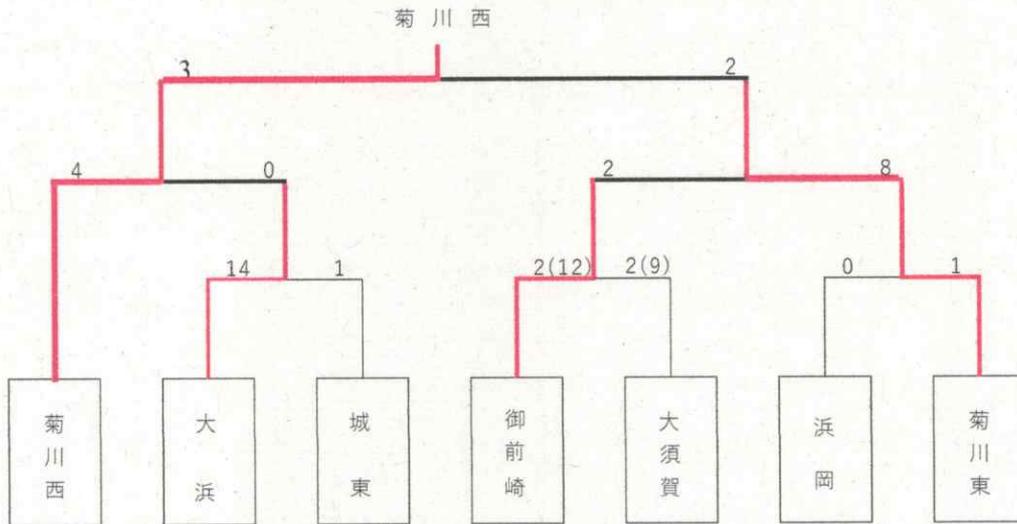
決勝戦は、共にシード校を破って勝ち上がった、掛川北中と栄川中との戦いであった。今大会では、原野谷中と岳洋中が合同チームとなり、北部大会に参加する形となった。優勝した栄川中は、コントロールの良い投手を軸に、堅実な守備が際立っていた。また、果敢に攻める走塁は見事であった。一方、準優勝した掛川北中は、粘り強い打撃で相手のミスを誘い、適打が目立った。決勝戦では、安定した守備で0点に抑えた栄川中とミスを取り返すプレーで0点に抑えていた掛川北中の両投手が踏ん張り、決勝戦に相応しい均衡したゲームが展開された。試合を決した要因は、試合終盤の違反投球であった。今年度は小笠地区から5チームが西部大会に出場する。是非小笠地区の代表として、小笠野球ここにありを示して欲しい。

優勝作文

掛川市立栄川中学校 山本 涼貴

新チームになって僕たち栄川中学校野球部は、新人戦に優勝することができました。去年は、新型コロナの関係で新人戦はありませんでした。二年前にも優勝しているので二連覇になりました。しかし、僕たちは守備でエラーはよくするし、長打を簡単に打てるチームでもありません。練習試合でも考えられないようなプレーが数多くあります。僕たちの学校は、バスの関係で平日の部活動の時間が他の学校と比べてかなり少ないです。そのため、平日の昼休みなど、時間を見つけ、一人一人の課題が克服できるように取り組みました。そうして迎えた新人戦では、自分のやるべきことを理解し、チーム全員で戦い抜いた結果、優勝することができました。この結果に満足せず、西部大会でも良い結果を残すことができるように、これまで支えてくれた方々への感謝を忘れず、これからもたくさんの人に応援されるように頑張ります。

新人総合体育大会（南部）



大会結果 優勝 菊川西 準優勝 菊川東 3位 大浜、御前崎

大会寸評

菊川市立菊川東中学校 杉山 優

新チームになり、岳洋中が単独チームとして出場できなくなったことで、7校での開催となった。城東中は登録選手9名と、まさにぎりぎりの状況下であったが、野球を楽しみながら深刺としたプレーをみせた。投手の制球力に課題があったためワンサイドな展開になってしまったことが悔やまれる。今後に期待したい。

どのチームもそれぞれに特色がみられた。1つ1つのプレーに、その選手なりの思いや努力が伺えたことが素晴らしいと感じた。これも各顧問が、選手一人ひとりを大切にしながら指導されているからだ。勝利を目指しながら人格を形成していく。失敗を克服する中で支援者の有り難さやチームワークの意義を感じていく。新人戦の経験が、7校122名の野球部員の人生を豊かにしていくことを願いたい。

優勝作文

菊川市立菊川西中学校 夏目 圭祐

僕たち菊川西中学校野球部は、「一を大事に」を目標にして、日々の練習に取り組みました。1つのアウト、1球の練習、プレイ以外でも時間を守ること、挨拶をすることなど1つ1つを大事にしました。試合中は、確認や指示の声を意識して、ポジショニングや予測、状況判断の音が絶え間なく出せるように声を掛け合いました。しかし、時には声を掛け合えなくなったり、練習に全力で取り組めなかったり、チームでやろうということを全員でできていない時もあり、チームとしても、それを許し流してしまっている雰囲気もありました。そのような時は、自分たちが何を目標として野球をしているのかを問い直し、新人戦優勝に向けて、自分たちはプラスになる行動ができているのか、「一を大事に」できているのかを話し合い、全員で決めた目標の意味を確認しながら練習を重ねました。新人戦では、練習で意識してきたことを発揮することができ、優勝することができました。チーム全員で意識を1つにして行動すれば、確実に自分達の力になるのだと感じました。

僕たちには、まだまだ課題はあります。まだ、自分たちだけで目標に向かって行動できているかを自問自答しながら、目標に向かっての行動の質を高めていくことです。いつでも目標に向かって行動することは難しいですが、それを自分たちで目指し、行動できるチームになればもっと強いチームになれるはずだと信じています。新人戦で満足することなく、自分たちで目標に向かって進んでいけるチームを目指し、これからも行動していきたいです。

ソフトテニス

総合体育大会 (男子)

団体戦 <予選リーグ>

A	掛川西	浜岡	原野谷	順位
掛川西	-	③	②	1
浜岡	0	-	1	3
原野谷	1	②	-	2

B	菊川西	御前崎	菊川東	順位
菊川西	-	③	③	1
御前崎	0	-	1	3
菊川東	0	②	-	2

C	掛川北	大浜	岳洋	順位
掛川北	-	③	②	1
大浜	0	-	1	3
岳洋	1	②	-	2

D	桜が丘	掛川東	城東	順位
桜が丘	-	③	②	1
掛川東	0	-	②	2
城東	1	1	-	3

<決勝トーナメント>



大会結果 優勝 菊川西 準優勝 掛川西 3位 菊川東、掛川北

個人戦

優勝	武藤・鈴木 (菊川西)	準優勝	高柳・山本 (掛川西)
3位	田旗・清水 (掛川北)	4位	水野・渡辺 (菊川西)
5位	津島・落合 (菊川東)	6位	西川翔・林 (菊川西)
7位	片桐・水野 (原野谷)	8位	藤川・小林 (原野谷)

大会寸評

御前崎市立浜岡中学校 倉島 諄

梅雨明けの熱戦、迎え、猛暑の中、大会のためとなるっ団体戦では、順上位校が実力を発揮し、城東中の菊川西中、個人戦で優勝した。梅雨明けの熱戦、迎え、猛暑の中、大会のためとなるっ団体戦では、順上位校が実力を発揮し、城東中の菊川西中、個人戦で優勝した。梅雨明けの熱戦、迎え、猛暑の中、大会のためとなるっ団体戦では、順上位校が実力を発揮し、城東中の菊川西中、個人戦で優勝した。

優勝作文

菊川市立菊川西中学校 武藤 文典

僕たちは、菊川市立菊川西中学校のソフトテニス部です。今年度は、優勝することができました。これは、練習の成果と、仲間との協力のおかげです。ソフトテニスは、とても難しいスポーツです。しかし、仲間と協力して練習すれば、必ず上手になります。今年度は、優勝することができました。これは、練習の成果と、仲間との協力のおかげです。

総合体育大会（女子）

団体戦 <予選リーグ>

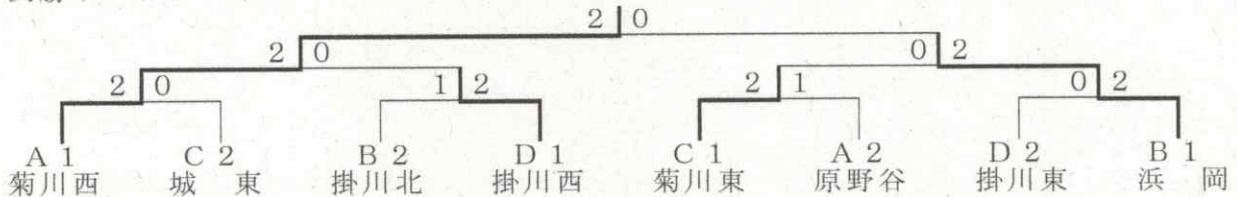
A	菊川西	原野谷	桜が丘	順位
菊川西		③	③	1
原野谷	0		②	2
桜が丘	0	1		3

B	浜岡	大須賀	掛川北	順位
浜岡		③	③	1
大須賀	0		0	3
掛川北	0	③		2

C	菊川東	岳洋	城東	順位
菊川東		③	②	1
岳洋	0		0	3
城東	1	③		2

D	掛川西	御前崎	掛川東	順位
掛川西		③	②	1
御前崎	0		1	3
掛川東	1	②		2

<決勝トーナメント>



大会結果 優勝 菊川西 準優勝 浜岡 3位 掛川西、菊川東

個人戦

優勝	岡本・杉田 (菊川西)
3位	若林・内野 (菊川西)
5位	山下・松島 (浜岡)
7位	長嶋・野尻 (浜岡)

準優勝	小林・橋本 (掛川西)
4位	森下・鈴木 (菊川西)
6位	服部・石田 (菊川東)
8位	大石・河原崎 (浜岡)

大会寸評

菊川市立岳洋中学校 吉政 翔太

梅雨が明け、猛烈な暑さの中で試合が行われた。雨が心配されることもなく、各校の先方と選手の協力により、日程通りに大会を行うことができた。団体戦では、予選リーグから白熱した試合が行われ、試合を重ねるごとに勢いが増す選手の姿が見られた。決勝トーナメントでは、予選リーグで1位通過した、菊川西中、浜岡中、菊川東中、掛川西中がベスト4へと進出した。決勝戦では、菊川西中と浜岡中との対戦となり、昨年度の雪辱を果たすかたちで菊川西中が優勝を勝ち取った。個人戦では、本大会に向けて練習した成果を発揮すべく、最後まで粘り強くボールを追う選手たちに胸を打たれた。明るく前向きで、粘り強いプレーをする掛川西中小林・橋本ペアが決勝に駒を進めたが、決勝戦では戦略的かつ攻撃的な菊川西中岡本・杉田ペアが3-1で優勝を勝ち取った。県大会には、菊川西中、掛川西中、浜岡中、菊川東中の選手の出場が決定した。

昨年度に続き、コロナ禍のため様々な制約の中での大会開催となった。特に、選手の観戦や応援に制限がかかってしまったことは、素晴らしい大会を受け継ぐ上で大きなマイナスであったと感じる。運営については、多くの先方、選手に助けられ、スムーズに進行することができた。県大会へ臨む選手は、惜しくも県大会出場を果せなかった選手の悔しさを背負い、小笠地区の代表として粘り強く熱く戦ってきてもらいたい。

優勝作文

菊川市立菊川西中学校 岡本しおり

部員全員で掴み取った優勝。これは、一人一人が仲間のためにチームの勝利のために戦った結果です。また、1、2年生が応援してくれたり、私たちを支えてくれたりと、団体戦メンバーだけでなく、部員全員が心一つにしたからこそ掴み取れた優勝だと思います。今年の1月から3月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、練習が一切出来ませんでした。ですが、練習が出来ない分、何度かのミーティングを行い、「かけ足」「声出し」「メリハリ」を意識して、一人一人が練習に本気で取り組んでいくことを決めました。4月から再開された練習では、テニスから離れている時間が長かったため気持ちのつくり方に悩みましたが、全員で最後の大会に向けて本気になって努力しました。この小笠大会団体戦優勝は、私たちの力だけでは絶対に達成することができなかつたと思います。私たちが支え、沢山のことを教えてくださった顧問の先生、お弁当作りや送迎をしてくれた家族のお陰です。最後の大会を優勝という最高の結果で終えることができ、本当に嬉しいです。私たちを支えてくださった沢山の方々、本当にありがとうございました。

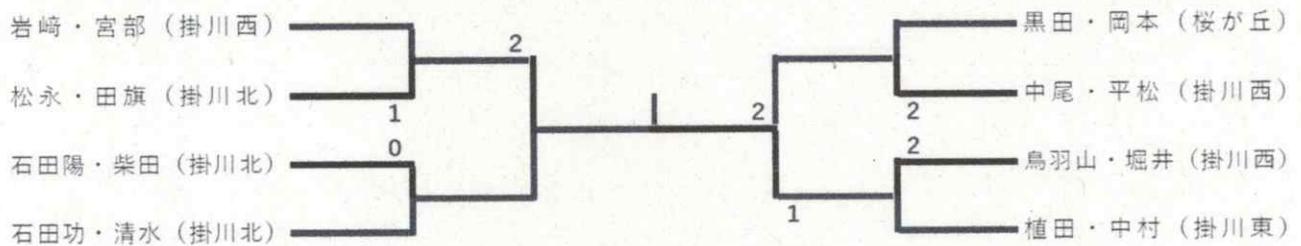
新人総合体育大会（北部男子）

団体戦 結果（総当たりリーグ戦）

	① 掛川西	② 掛川東	③ 桜が丘	④ 掛川北	⑤ 原野谷	勝数	負数	順位
① 掛川西	-	③	③	②	③	4	0	1
② 掛川東	0	-	0	1	③	1	3	4
③ 桜が丘	0	③	-	②	③	3	1	2
④ 掛川北	1	②	1	-	③	2	2	3
⑤ 原野谷	0	0	0	0	-	0	4	5

大会結果 **優勝 掛川西** **準優勝 桜が丘** **3位 掛川北**

個人戦 結果（準決勝以降：全32ペア参加）



優勝 石田功・清水（掛川北） 準優勝 黒田・岡本（桜が丘） 3位 岩崎・宮部（掛川西）
4位 植田・中村（掛川東） 5位 中尾・平松（掛川西） 6位 松永・田旗（掛川北）
7位 鳥羽山・堀井（掛川西） 8位 石田陽・柴田（掛川北）

大会寸評

掛川市立東中学校 大倉佑太郎

台風の接近により、天気の様子を見ながら大会を開催した。団体戦では、総合力で勝る掛川西中が全勝と盤石の強さを見せた。落とした対戦も一つの対戦だけであり、ほぼ完全優勝に近いものであった。桜が丘中は岡本、黒田の2名が安定したプレーを見せ掛川北中との接戦をものにし準優勝となった。掛川北中は、石田の粘り強いストロークと清水の攻撃的なプレーで3位となった。個人戦は、二度の延期を経て25日の開催となった。掛川北中の石田・清水ペアが団体戦優勝の掛川西中岩崎・宮部ペアに準決勝で競り勝つと、勢いそのままに決勝戦では、桜が丘中岡本・黒田ペアにもファイナルゲームで競り勝ち優勝を果たした。団体戦個人戦ともに、後衛の実力が勝敗に大きく影響した。安定したストロークを見せたチームが勝ち進んだ印象である。来年度の総体に向け、どこのチームも前衛の成長に期待したい。

優勝作文

掛川市立西中学校 岩崎 大空

「北部優勝」を目標に挑んだ新人戦。新型コロナウイルスの影響を受け、公式戦は中止となり他校との練習試合の機会も減少したことにより、試合や大会の経験が少なく「今の自分たちには高すぎる目標ではないか」という不安もありました。団体戦では、目標としていた北部優勝を達成することができました。果敢に挑む仲間の姿をベンチから見て、限られた時間と経験の中でも自分たちが成長できていることを実感しました。同時に、自分たちが日々取り組んできたことに自信をもつこともできました。個人戦では、1つでも多く勝つことを目標に挑んだ結果、4ペアがYONEX CUP小笠予選への出場を決めることができました。私たちの挑戦や闘いはこれからも続きます。慢心することなく、限られた部活動時間の中で自らの強みと課題を意識した練習を心掛け、更なる成長を遂げていきたいです。また、部長として私自身もチーム全体を引っ張っていけるよう努めていきたいです。

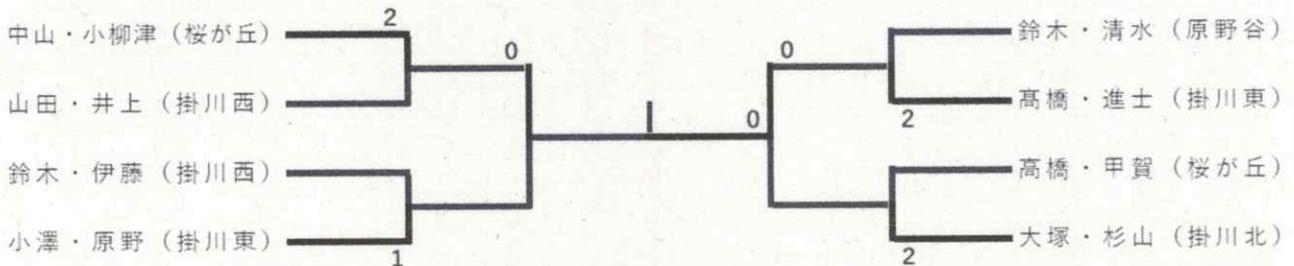
新人総合体育大会（北部女子）

団体戦 結果（総当たりリーグ戦）

	① 桜が丘	② 掛川北	③ 原野谷	④ 掛川東	⑤ 掛川西	勝数	負数	順位
① 桜が丘	-	②	1	②	1	2	2	3
② 掛川北	1	-	③	②	1	2	2	2
③ 原野谷	②	0	-	②	0	2	2	4
④ 掛川東	1	1	1	-	1	0	4	5
⑤ 掛川西	②	②	③	②	-	4	0	1

大会結果 優勝 掛川西 準優勝 掛川北 3位 桜が丘

個人戦 結果（準決勝以降：全29ペア参加）



優勝 鈴木・伊藤 (掛川西) 準優勝 高橋・甲賀 (桜が丘) 3位 鈴木・清水 (原野谷)
4位 山田・井上 (掛川西) 5位 大塚・杉山 (掛川北) 6位 中山・小柳津 (桜が丘)
7位 小澤・原野 (掛川東) 8位 高橋・進士 (掛川東)

大会寸評

掛川市立北中学校 杵塚 茉穂

本大会は、台風接近の影響により個人戦2日間、団体戦1日の計3日間で開催された。各校の先生方と、選手、保護者の方々の協力により、無事に終わることができた。団体戦では、掛川西中学校がチームとして全勝し1位となった。掛川北中、原野谷中、桜が丘中が2戦2敗と並び、どの対戦も接戦が繰り返された。新チームとなり初めての大会であったが、掛川東中の選手を筆頭に、大きな声で元気よくプレーする選手が多く見られた。2日間にわたって開催された個人戦では、団体戦同様掛川西中の選手が1位となった。攻めの姿勢を崩さないプレーで、力強いボールが多く見られた。個人戦では、雨や風により、ボールが伸びなかったり、流されてしまったりしたときに対応ができていない様子が見られたため、今後さらなる成長を期待したい。個人戦は、1位掛川西中、2位桜が丘中、3位原野谷中、4位掛川西中という結果になった。雨による大会遅延や延期等があったが、先生方のご協力のおかげで、よい雰囲気での試合の観戦や応援が行われた。今後行われる大会でも、熱い戦いを期待したい。

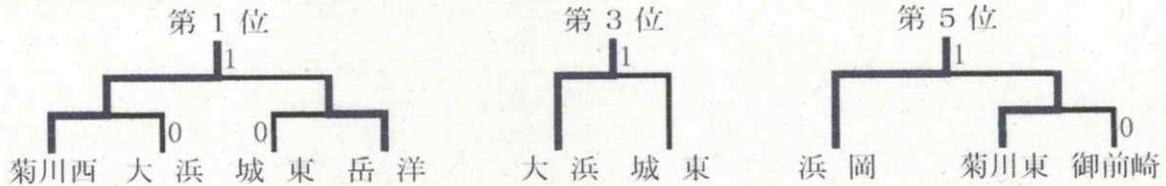
優勝作文

掛川市立西中学校 山田 聖羅

二年生だけの大会は半年以上も間があいてしまって、久しぶりの大会に緊張しました。私が部長になってから約二か月、テニス部全体を動かす役割でありながら、みんなに声が届かず、困らせてしまうことがあり、私は部長として役割ができていないのか不安でした。ですが、アドバイスをしてくれる仲間がいて、おかげでみんなをまとめることができています。大会当日は結果を残せるか不安でしたが、メンバー同士で声をかけ、協力することで、団体戦優勝をすることができました。とても嬉しかったです。けれど、移動がすばやくできていなかったり、準備が遅くなったりしてしまい、練習時間が削られてしまっています。そこは私がみんなに声を掛けて、テニス部全体のレベルを上げていきたいです。そして中体連に全力で取り組み、後悔しないようにみんなで頑張っていきます。

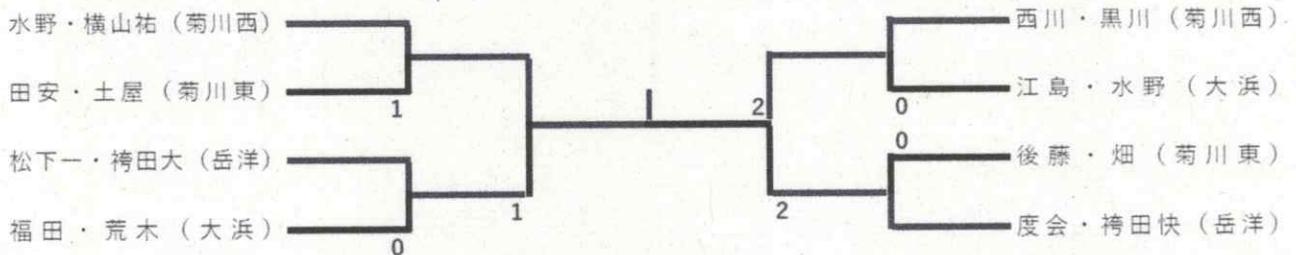
新人総合体育大会（南部男子）

団体戦 結果（予選リーグ・決勝トーナメント）



大会結果 優勝 菊川西 準優勝 岳洋 3位 大浜

個人戦 結果（準決勝以降：全48ペア参加）



優勝 水野・横山祐 (菊川西) 準優勝 西川・黒川 (菊川西) 3位 松下一・袴田大 (岳洋)
4位 度会・袴田快 (岳洋) 5位 江島・水野 (大浜) 6位 福田・荒木 (大浜)
7位 後藤・畑 (菊川東) 8位 田安・土屋 (菊川東)

大会寸評

御前崎市立浜岡中学校 倉島 諄

台風のせまる不安定な気候の中での新人戦となった。団体戦では、Aリーグを菊川西中が制し、Bリーグは大浜中が3校をおさえ、1位で決勝トーナメントへ進出した。決勝トーナメントでは、菊川西中が大浜中に、岳洋中が城東中に勝利を収めた。決勝では、岳洋中が惜しくも2対1でやぶれ、菊川西中が優勝を勝ち取った。個人戦では、熾烈な戦いの中、菊川西中、菊川東中、岳洋中、大浜中の選手がベスト8まで勝ち残り、決勝では水野・横山祐ペアと、西川・黒川ペアの菊川西中の同校対決となり、第1シードの水野・横山祐ペアが見事優勝を勝ち取った。3位決定戦も、松下一・袴田大ペアと、度会・袴田快ペアの岳洋中の同校対決となり、松下一・袴田大ペアが勝利をおさめた。どの学校も個人の実力を高めつつあり、選手たちの今後のさらなる成長を感じさせる大会だった。選手たちがさらに技能に磨きをかけ、小笠大会、それに続く西部大会、県大会で、一人一人の実力を如何なく発揮し、静岡県ソフトテニス界を盛り上げてくれることを期待したい。

優勝作文

菊川市立菊川西中学校 水野 雷斗

僕たち菊川西中テニス部は「小笠で常にトップに立つ」という目標に向かって、日々の練習に取り組んできました。僕たちの最終目標は「全国大会出場」です。しかし、今回の新人戦で良い結果を残せたからと言って、思い上がりはいけません。試合では常に思考を巡らせ、どういうプレーで勝つのか、試合後にどんな姿になりたいのかといった先のことを考え、毎日の練習を大切にしていきたいです。でも、努力して成長しているのは僕たちだけではありません。他の学校も同じように努力していることを頭に置き、負けないように練習や試合に励んでいきたいです。試合で勝利することも大切ですが、それよりも僕たちは、挨拶、対戦相手への感謝の気持ち、環境の整備を、部活動だけでなく日常生活でも大切にしています。こういった小さなことから大切に、部員全員で成長していきたいです。僕たちを日頃支えてくれている先生方や家族、一緒に部活を頑張っている仲間への感謝の気持ちを忘れず、僕たちはこれからも成長していきます。

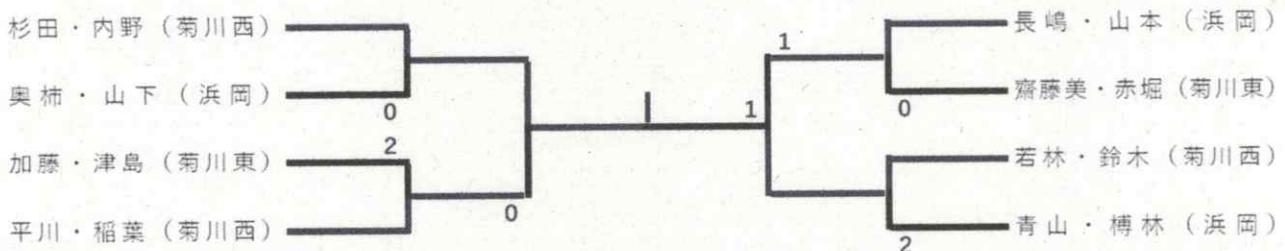
新人総合体育大会（南部女子）

団体戦 結果（予選リーグ・決勝トーナメント）



大会結果 優勝 菊川西 準優勝 浜岡 3位 菊川東

個人戦 結果（準決勝以降：全40ペア参加）



優勝 杉田・内野（菊川西） 準優勝 若林・鈴木（菊川西） 3位 長嶋・山本（浜岡）
4位 平川・稲葉（菊川西） 5位 青山・樽林（浜岡） 6位 加藤・津島（菊川東）
7位 奥柿・山本（浜岡） 8位 齋藤美・赤堀（菊川東）

大会寸評

菊川市立岳洋中学校 吉政 翔太

台風の接近により、大雨が予想されたが、天気の様子を見ながら、小雨のなか試合が行われた。各校の先生方と選手の協力により、大会を無事に終えることができた。団体戦では、予選リーグが行われ、菊川西中、菊川東中が1位通過、浜岡、城東が2位通過した。決勝トーナメントでは、予選1位で通過した菊川東中と予選2位通過した浜岡中の白熱した試合が行われ、浜岡中が2-0で決勝進出を決めた。菊川西中は、中体連の先輩に続き、圧巻の強さを見せ、1ペアも負けることなく優勝を勝ち取った。個人戦では、新チームになってから初の公式戦で、緊張しながらプレーした選手が多かったように思われるダブルフォルトや簡単なレシーブミスが多く見られたので、テニスの基本であるサーブ、レシーブの制度を上げ、今後さらなる白熱した試合を期待したい。団体優勝の菊川西中は、ミスを恐れない果敢なプレーで勝ち上がり、個人戦1位、2位、4位に入賞した。浜岡中は、個人戦3位、5位、7位入賞、菊川東中は、6位、8位に入賞した。保護者の観戦が少し緩和されたなかでの大会開催となり、コロナ感染拡大前の明るい雰囲気に戻りつつあった。運営については、中学総合体育大会に続き、多くの先生方、選手に助けられ、スムーズに進行することができた。これから行われるYONEX小笠大会やYONEX西部大会、YONEX県大会で小笠南部地区を代表する熱い戦いを期待したい。

優勝作文

菊川市立菊川西中学校 杉田 れな

みんなで勝ち取った小笠新人団体戦。これは、誰一人諦めることなく必死にボールを追いかけたからこそ成し遂げられたことだと思います。仲間がうまくいかなくて落ち込んでいるときも、温かい励ましでチームをいつもいい雰囲気にもっていきました。これまでの練習では、自分の得意なところを伸ばすことと不得意なところを理解することを意識し、意味のある練習をしてきました。だからこそ、それが試合本番での自分の自信となり、思い切ったプレーができたのだと思います。私たちの目標は東海大会出場です。昨年の記録を上回れるようこれからも頑張ります。

剣道

総合体育大会

男子団体戦

<予選リーグ>

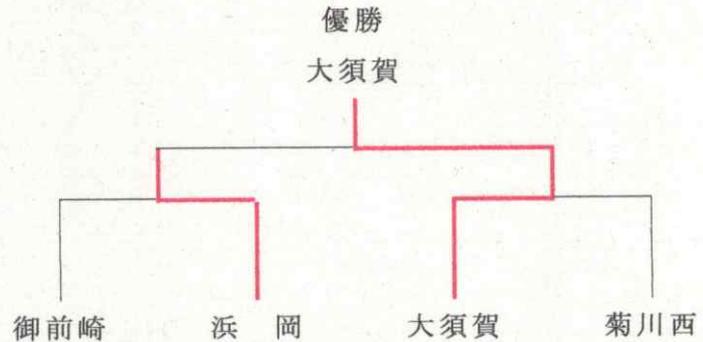
Aリーグ

- 1位 御前崎
- 2位 大須賀

Bリーグ

- 1位 菊川西
- 2位 浜岡

<決勝トーナメント>



大会結果 優勝 大須賀 準優勝 浜岡 3位 御前崎、菊川西

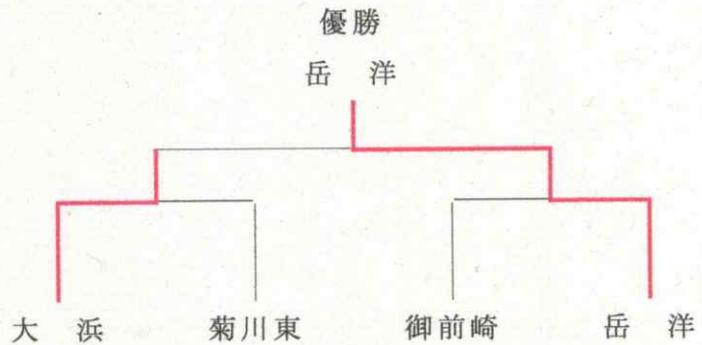
女子団体戦

Aリーグ

- 1位 大浜
- 2位 御前崎

Bリーグ

- 1位 岳洋
- 2位 菊川東



大会結果 優勝 岳洋 準優勝 大浜 3位 御前崎、菊川東

個人戦

大会結果 (男子) 優勝 水野 倅陽 (浜岡) 準優勝 原口 綾人 (御前崎)
3位 田端 大翔 (大浜) 3位 米倉鳳之進 (菊川東)

大会結果 (女子) 優勝 落合 煌珀 (岳洋) 準優勝 伊藤 心寧 (岳洋)
3位 大森 薫 (御前崎) 3位 出野ひなの (大浜)

大会寸評

菊川市立岳洋中学校 水嶋 志展

本年度3年生は中学校入学当初から新型コロナウイルスによって試合、練習試合をほとんどしてきていない選手達だった。しかし、各学校での稽古を十分積み、見応えのある試合を行った。男子団体戦では、どのチームが優勝してもおかしくない展開で決勝トーナメントでは予選リーグ2位で勝ち抜いた2チームが決勝戦に駒を進めた。白熱した展開となったが、最後は1本の差で大須賀中学校が優勝を手にした。

女子団体戦では予選から圧倒的な力の差を岳洋中学校が見せつけ、決勝戦でも4-1と大将戦を待たずに優勝を決めた。女子個人戦でも岳洋中学校の中核を担っていた大将落合選手と先鋒伊藤選手の決勝戦となり、県大会進出枠について、女子は岳洋中学校の完全制覇となった。男子個人戦は準決勝以降手に汗握る展開でわずかな差で浜岡中学校の水野選手が優勝を手にした。

また、令和4年4月から新型コロナウイルスに対する暫定的試合審判法が改定され、審判員の先生方や保護者の方々、選手への周知が心配されたが事前に講習会を開くなどして対応できていたため問題なく試合を終えることができた。

優勝作文(男子)

掛川市立大須賀中学校 渡邊 剛翔

僕たち大須賀中学校剣道部は、新人戦で悔しい思いをしたので、小笠大会では優勝、県大会では上位入賞を目標に、日々稽古に取り組んできました。

今回の大会では、チームとして勝つために一人ひとりが大将にまで回すことを意識して、団体戦に臨みました。予選では、チーム全員が一勝以上して、決勝トーナメントに進むことができました。一回戦では危ない場面もありましたが、勝つことができました。決勝では、次鋒の赤澤君の二本勝ちを守り切ることができました。これは、チーム全員の気持ちが一つになったからこそだと思いました。

小笠総体優勝は達成できましたが、もう一つの目標がまだ残っています。県大会では一人ひとりが今まで支えてくれた保護者の方々や、剣道を教えてくれた先生方の思いを大切に、小笠の代表として自分たちの力を思い切りぶつけて、目標を達成したいです。

優勝作文(女子)

菊川市立岳洋中学校 落合 煌珀

私たち岳洋中学校剣道部は、「地区大会で優勝し、県大会に出場する。」という目標を達成することができました。しかし、自分たちの力だけでは絶対に叶えることはできなかったと思います。新型コロナウイルスで大変な中でも大会を開催していただいたこと、稽古が十分にできること、熱心に指導をしてくださるたくさんの先生方や応援してくれる家族、仲間がいること、大勢の方々の協力のおかげで当日を迎えることができたのです。

県大会では、感謝の気持ちを忘れずに「小笠の代表」として、最後まで諦めず戦い抜き対と思います。

新人総合体育大会

男子団体決勝トーナメント結果

優勝 大須賀

準優勝 菊川西

3位 岳洋

女子団体決勝トーナメント結果

優勝 大浜

準優勝 岳洋

3位 御前崎

個人戦

大会結果 (男子)

優勝 大石 駿介 (大須賀) 準優勝 藤澤 武 (菊川東)
3位 原口 綾人 (御前崎) 3位 落合 琥珀 (岳洋)

大会結果 (女子)

優勝 大森 薫 (御前崎) 準優勝 溝口 乃愛 (浜岡)
3位 坂本果南芽 (浜岡) 3位 伊藤 涼音 (岳洋)

大会寸評

菊川市立岳洋中学校 水嶋 志展

中学校入学後から剣道を始めた選手が多い中の大会で会ったため、審判員の先生方には指導を重点的に行っていただくようお願いした。また、剣道人口が減少する中で小笠地区は五人そろわないチームが目立った。個々の力はかなり着いてきているが五人そろわないために負けてしまうチームも目についた。競技力の向上だけでなく、裾野を広げる活動をすることも中体連を盛り上げる上で必要なことだと感じた。

優勝作文 (男子)

掛川市立大須賀中学校 酒井 善光

「団体戦優勝」という目標達成のため、部員全員で夏の暑さと、厳しい稽古を乗り越え頑張ってきました。大須賀中の伝統である「心技一如」を意識して稽古に取り組みました。この言葉には、心と技が一致することで一つのことを達成できるという意味があります。5人揃わず4人で戦う男子団体戦。それぞれが「絶対に1本取る」という強い気持ちで当日の試合に臨みました。試合は、部員それぞれの持ち味を出し、お互いにカバーし合いながら優勝を勝ち取ることができました。これからも、チーム一丸となり周りの人たちへの感謝の気持ちを忘れずに精一杯頑張っていきたいです。

優勝作文 (女子)

掛川市立大浜中学校 出野ひなの

私たち大浜中学校剣道部は、県大会に出場し、勝つことを目標に一日一日の稽古に取り組んできました。今回の新人戦、私たちは三人というとても不利な状況で団体戦に臨みました。三人で出るということは、全員が勝たなければいけないということなので、始めは「勝てない」「無理だ」とチームのみんなも私も思っていました。しかし、一人一人がそのようなプレッシャーを抱えている中でもみんな自分の力を精一杯出し切り、仲間に良い流れを繋ぐことができました。そして、そのおかげで私たちは優勝することができました。

今回の試合は私たちにとってとても良い経験になったと思います。なので、忘れないうちにこの試合を振り返り、これらに向けてより一層稽古に力を入れていきたいです。そして、いつも私たちを支えてくださっている先生、家族、地域の人に次の大会の結果でもお返しができるようにみんなで励まし合いながら、一生懸命部活に取り組んでいきたいです。

水 泳

総合体育大会

大会結果	【男 子】	優 勝	掛川東	準優勝	掛川西
	【女 子】	優 勝	掛川東	準優勝	掛川西

大会寸評

掛川市立東中学校 千葉 美加子

不安定な天候の中での大会開催となりましたが、選手らは日々の練習の成果を十分に発揮することができ、夏の総体のスタートにふさわしい清々しい大会となりました。コロナ禍の影響で、声援はありませんでしたが、拍手で同じ学校や他校の仲間を応援する姿はスポーツマンシップを感じることができました。大会への出場人数が年々減少する中、出場者たちが同じ水泳仲間の活躍を「学校」という枠を超えて喜ぶことは素晴らしいことです。さらに西部大会において、上位に入賞する選手も増え、日々の努力が小笠全体の競技力向上に繋がっていると考えています。

最後に、本大会がスムーズに運営できたのは、当日協力してくださった各校の役員の先生方のおかげです。本当にありがとうございました。

優勝作文（男子）

掛川市立東中学校 大杉 晴臣

僕たち東中水泳部は、「男子の部、女子の部、総合の部での小笠3冠」を目標に、日々練習をしてきました。そして今年、目標を達成し、3つのトロフィーを東中に持って帰ることができました。その後の西部大会でも、男子フリーリレーとメドレーリレーで県大会出場を決めることができました。目標を達成するために全員が自己ベストを出すということを強く意識し、日々のトレーニングに全力で取り組んできました。練習中は部員の意見が合わず、チームとしてまとまらないこともありましたが、それでも声を掛け合い、集中して練習してきたからこそ、大会で一体感が生まれ、この結果に繋がったと思います。

1、2年生はこのトロフィーをずっと東中に飾ることができるよう、これからも頑張りたいと思います。最後に、これまでサポートしてくださった先生方、先輩、1、2年生、保護者の方に感謝を伝えたいと思います。ありがとうございました。

優勝作文（女子）

掛川市立東中学校 小出 百花

私たち3年生にとって最後の大会。自己ベストを目指し、ひとり一人の目標を成し遂げ、今までの練習の成果を発揮する日でもありました。私たちは日々辛いメニューを徹底して行い、仲間同士でアドバイスをしました。また、先生からのご指導をもらうことにより、自分の泳ぎを改善し、さらに自分を高めてきました。そして大会の当日では、選手全員が自分の競技に集中し、全力で泳ぐことができました。結果として、総合優勝を東中が手にすることができました。さらに、男女の部でも優勝を手にし、3つのカップを東中に持ち帰ることができました。この「優勝」の裏には、部員ひとり一人の努力や葛藤があり、計り知れないほどの物語があると思います。私たち3年生をこうして3冠に導いてくれた部員全員に心から感謝の気持ちを伝えたいです。そして私たちを陰で支えてくださった顧問の先生方や保護者の皆様にも心から感謝をしています。水泳は個人競技ですが、実際には団体競技であると思っています。日々の練習には仲間同士の力や絆がなければ練習も成り立ちません。後輩には、このことを忘れずにこれからの練習に取り組んでほしいです。是非、周りから応援される、応援したいと思われような部活になってほしいです。最後になりますが、学ぶことが多い、充実した3年間だったと感じています。水泳部でこの仲間と共に一緒に練習できたことは、この先の励みとしても力になってくれると信じています。本当にありがとうございました。

令和4年度 小笠地区中学校総合体育大会 水泳競技の部

男子	1位	2位	3位	4位
自由形 50m	半田 漣寿 中3 掛川東 29.16	渡邊 太喜 中2 掛川東 32.73	佐藤 大雅 中3 掛川西 33.34	高橋 悠生 中3 御前崎 34.16
自由形 100m	高橋 玲皇 中3 掛川西 01:03.00	北川 昂 中1 掛川東 01:04.83	堀内 誠人 中2 掛川東 01:14.37	佐藤 大雅 中3 掛川西 01:18.15
自由形 200m	塚越 隼 中1 桜が丘 02:18.99	大杉 晴臣 中3 掛川東 02:23.83	杉山 碧 中2 岳 洋 02:38.55	小島 楓嘉 中3 掛川西 02:43.77
自由形 400m	塚越 隼 中1 桜が丘 04:56.74	青島 仁 中2 大須賀 05:25.38	杉山 碧 中2 岳 洋 05:34.64	加藤 伊吹 中1 桜が丘 06:00.94
自由形 1500m	加藤 伊吹 中1 桜が丘 22:59.23	井上 乙希 中3 掛川西 27:33.38	田宮 然 中2 掛川東 29:29.82	狩野 八紘 中2 掛川東 30:24.04
背泳ぎ 100m	池田 柁央 中1 浜 岡 01:14.98	池畑 陽斗 中3 掛川東 01:24.22	北嶋 晴丞 中2 掛川西 01:25.65	前田 尚之 中3 掛川東 01:25.71
背泳ぎ 200m	池田 柁央 中1 浜 岡 02:40.47	池畑 陽斗 中3 掛川東 03:09.37	大石琉羽社 中1 掛川東 03:11.63	長門 秀星 中2 掛川西 04:00.71
平泳ぎ 100m	西原 楓太 中3 御前崎 01:10.97	水越 朝陽 中2 掛川北 01:15.31	半田 漣寿 中3 掛川東 01:21.42	内山 靖堯 中3 掛川西 01:30.27
平泳ぎ 200m	水越 朝陽 中2 掛川北 02:36.59	西原 楓太 中3 御前崎 02:39.93	青島 仁 中2 大須賀 03:09.29	石田 健太 中2 掛川東 03:09.58
バタフライ 100m	大杉 晴臣 中3 掛川東 01:13.54	佐野 葵 中3 掛川西 01:32.42	木野 天翔 中2 掛川東 01:41.88	谷高 心都 中2 掛川西 01:43.89
バタフライ 200m				
個人メドレー 200m	松井 唯人 中3 岳 洋 02:32.92	森山 陸斗 中3 大 浜 02:36.03	鈴木 蓮太 中2 掛川東 02:44.08	高橋 玲皇 中3 掛川西 02:50.09
個人メドレー 400m	松井 唯人 中3 岳 洋 05:32.69	森山 陸斗 中3 大 浜 05:40.37	鈴木 蓮太 中2 掛川東 05:51.00	北川 昂 中1 掛川東 05:57.09
FR 400m	掛川東 04:27.17	掛川西 04:54.06		
MR 400m	掛川東 04:58.47	掛川西 05:25.10		

女子	1位	2位	3位	4位
自由形 50m	一色 美優 中2 掛川西 31.55	川田 めい 中1 掛川東 32.51	石川 星来 中1 掛川東 33.73	山本 真穂 中3 掛川東 35.25
自由形 100m	山本 真穂 中3 掛川東 01:21.92	荒井 菜々 中2 掛川西 01:36.32	山下 桃花 中2 掛川西 01:40.54	一ノ瀬美咲 中1 掛川西 01:44.44
自由形 200m	大澤 二葉 中1 桜が丘 02:43.91			
自由形 400m	大澤 二葉 中1 桜が丘 05:55.07	島 凜果 中1 掛川東 06:11.70	小出 百花 中3 掛川東 07:01.89	
自由形 800m	藤本 心春 中2 栄 川 11:43.77	島 凜果 中1 掛川東 12:34.78	小出 百花 中3 掛川東 14:32.22	
背泳ぎ 100m	藤本 心春 中2 栄 川 01:21.01	一色 美優 中2 掛川西 01:24.19	石川 星来 中1 掛川東 01:24.33	伊藤 朱音 中3 掛川東 01:45.43
背泳ぎ 200m	伊藤 朱音 中3 掛川東 03:48.42			
平泳ぎ 100m	鈴木 美兎 中1 掛川東 01:43.53	鈴木 陽佳 中3 掛川西 01:48.94	坂田瑛璃華 中3 掛川東 01:50.59	半田 咲弥 中1 掛川東 01:56.20
平泳ぎ 200m	鈴木 陽佳 中3 掛川西 03:48.29	坂田瑛璃華 中3 掛川東 04:00.43		
バタフライ 100m	渡辺 香穂 中1 大須賀 01:19.47			
バタフライ 200m	渡辺 香穂 中1 大須賀 03:03.68			
個人メドレー 200m	森山 紗 中2 菊川西 02:55.75	川田 めい 中1 掛川東 03:11.43	前島 史歩 中1 城 東 03:24.57	
個人メドレー 400m	森山 紗 中2 菊川西 06:01.6			
FR 400m	掛川東 05:29.35	掛川西 06:16.20		
MR 400m	掛川東 06:01.25	掛川西 06:48.20		

新人総合体育大会

大会結果	<u>【男子】</u>	<u>優勝</u>	<u>掛川東</u>	<u>準優勝</u>	<u>掛川西</u>
	<u>【女子】</u>	<u>優勝</u>	<u>掛川東</u>	<u>準優勝</u>	<u>掛川西</u>

大会寸評

掛川市立東中学校 千葉美加子

約4年ぶりの新人戦開幕は、清々しいほどの晴天に恵まれ、選手らは日々の練習の成果を十分に発揮することができました。新チームが発足し、夏の大会と比べて競技者数は減少したものの、チーム内外を問わず応援をするなど、活気溢れる大会となりました。また本大会から掛川市水泳連盟に役員を依頼し、選手、役員共に学びの多い1日となりました。来年度の総合体育大会に繋がる新チームのよい幕開けとなったと思います。

終わりに、掛川市水泳連盟と各校の役員の先生方のおかげで、スムーズな大会運営となりました。本当にありがとうございました。

優勝作文（男子）

掛川市立東中学校 石田 健太

今回の新人戦は今まで部活を引っ張ってきてくれた全員が引退し、新しいチームとして最初の大会でした。「中体連の小笠3冠と合わせて、6冠を獲る」を目標に、3年生への恩返しの気持ちも込めて練習をしてきました。大会当日は、一人一人の努力が実を結び、目標通りに小笠3冠を手にすることができました。3年生が引退してから、ハードなメニューも声を掛け合って乗り越えた結果だと思います。しかし、これは部員の力だけでなく、いつもサポートしてくれた顧問の先生方や保護者の方々の力があってのことです。とても感謝しています。部活動は普段はできない他学年の生徒との信頼関係を築く場であり、礼儀を学ぶ場でもあります。今回の大会で見つけた様々な反省点を改善し、来年度の小笠総合体育大会に向け、これからも練習をしていきたいと思っています。そして、これからはオフシーズンになりますが、例年とは違い、秋季水泳記録会への参加や掛川水泳クラブへの参加も決まっています。練習できる場や機会があること、応援してくれる様々な人達への感謝の気持ちを忘れずに頑張っていきたいと思っています。

優勝作文（女子）

掛川市立東中学校 石川 星来

私たち東中水泳部は、小笠新人総合体育大会で男子の部、女子の部、総合の部で優勝し、小笠3冠をとることができました。振り返ると私たちは、悪天候の日、プールの水が冷たくて凍えそうな日、とても暑くジリジリと日焼けが痛んだ日、どんな日でも必死に練習をしてきました。全力で取り組むことで価値のある練習ができ、チームの絆も深まって、それぞれにベストを尽くせた結果となりました。今は来年の夏に向けて、更なる高みを目指すべく、基礎体力を身につけています。このオフシーズンの取り組みが来シーズンの成績に繋がると信じて、練習をしていきます。日々の練習でご指導いただき、優勝に導いてくれた先生方、送迎やお弁当などで応援してくれた保護者の皆様、そして的確なアドバイスをくださったり、プールサイドで拍手を送り続けてくださったりした先輩方に感謝の気持ちでいっぱいです。支えていただき、ありがとうございました。来年度の夏の大会では、今年度の西部大会よりさらに良い記録を出すことができるように、これからも頑張ります。

令和4年度 小笠中学校新人総合体育大会 水泳競技の部

男子	1位	2位	3位	4位
自由形	森下 五紫 中1	渡邊 太喜 中2	北嶋 晴丞 中2	
50m	菊川西	掛川東	掛川西	
	31.24	31.61	33.01	
自由形	北川 昂 中1	堀内 誠人 中2	戸塚 蒼悟 中2	
100m	掛川東	掛川東	掛川東	
	01:05.73	01:13.71	01:15.20	
自由形	越塚 隼 中1	杉山 碧 中2	戸塚 蒼悟 中2	
200m	桜が丘	岳 洋	掛川東	
	02:22.16	02:34.09	02:49.90	
自由形	越塚 隼 中1	青島 仁 中2	杉山 碧 中2	
400m	桜が丘	大須賀	岳 洋	
	04:56.22	04:57.75	05:35.31	
自由形	田宮 然 中2	渡邊 雄斗 中2		
800m	掛川東	掛川東		
	14:52.43	17:49.66		
背泳ぎ	池田 祐央 中1	大石琉羽社 中1	加藤 伊吹 中1	
100m	浜 岡	掛川東	桜が丘	
	01:17.55	01:26.66	01:26.80	
背泳ぎ	池田 祐央 中1	大石琉羽社 中1	加藤 伊吹 中1	
200m	浜 岡	掛川東	桜が丘	
	02:41.61	03:04.62	03:08.22	
平泳ぎ	石田 健太 中2	大濱 和生 中2	渡邊 迪 中2	
100m	掛川東	掛川西	掛川西	
	01:24.32	01:30.64	01:42.33	
平泳ぎ	石田 健太 中2	大濱 和生 中2	渡邊 迪 中2	
200m	掛川東	掛川西	掛川西	
	03:02.20	03:19.77	03:43.70	
バタフライ	片野 粹 中2	服部 那勇 中2	木野 天翔 中2	
100m	掛川東	掛川西	掛川東	
	01:33.42	01:34.86	01:34.95	
個人メドレー	青島 仁 中2	鈴木 蓮太 中2	服部 那勇 中2	
200m	大須賀	掛川東	掛川西	
	02:35.83	02:42.01	03:26.70	
個人メドレー	鈴木 蓮太 中2	北川 昂 中1	松井 諒太 中1	
400m	掛川東	掛川東	掛川西	
	05:40.31	00:407963	06:36.21	
FR	掛川東	掛川西		
400m	04:46.72	Fin. 05:06.74	Fin.	
MR	掛川西B	掛川西A		
400m	05:12.34	Fin. 05:42.45	Fin.	

女子	1位	2位	3位	4位
自由形	藤本 心春 中2	石川 星来 中1	大澤 二葉 中1	
50m	栄 川	掛川東	桜が丘	
	31.16	31.54	31.9	
自由形	藤本 心春 中2	大澤 二葉 中1	川田 めい 中1	
100m	栄 川	桜が丘	掛川東	
	01:10.67	01:12.52	01:15.07	
自由形	荒井 菜々 中2	山下 桃花 中2		
200m	掛川西	掛川西		
	03:31.48	03:34.27		
自由形	晶 凜果 中1			
400m	掛川東			
	06:15.15			
背泳ぎ	石川 星来 中1	北川 楓夏 中1	一ノ瀬美咲 中1	
100m	掛川東	掛川西	掛川西	
	01:23.60	01:53.68	02:09.88	
平泳ぎ	鈴木 美兎 中2	半田 咲弥 中1	佐竹まなか 中1	
100m	掛川東	掛川東	掛川西	
	01:32.04	01:48.33	02:07.23	
バタフライ	渡辺 香穂 中1			
100m	大須賀			
	01:15.91			
バタフライ	渡辺 香穂 中1			
200m	大須賀			
	02:52.12			
個人メドレー	森山 紗 中2	前島 史歩 中1	北川 楓夏 中1	
200m	菊川西	城 東	掛川西	
	02:53.49	03:23.40	04:16.52	
個人メドレー	森山 紗 中2			
400m	菊川西			
	05:59.46			
FR	掛川東	掛川西		
400m	05:11.28	Fin. 06:46.31	Fin.	
MR	掛川東	掛川西		
400m	05:47.38	Fin. 07:45.65	Fin.	

小笠中学校総合体育大会 年度別優勝校一覧表

西暦	1955	1956	1957	1958	1959	1960	1961	1962	1963	1964	1965	1966	1967	1968	1969	1970	1971	1972	1973	1974	1975	1976	1977	1978	1979	1980	1981	1982	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989		
バレー																																					
卓球																																					
柔道																																					
陸上																																					
駅伝																																					
バスケット																																					
サッカー																																					
野球																																					
ソフトボール																																					
フットボール																																					
剣道																																					
水泳																																					
体操																																					

西暦	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024		
バレー																																					
卓球																																					
柔道																																					
陸上																																					
駅伝																																					
バスケット																																					
サッカー																																					
野球																																					
ソフトボール																																					
フットボール																																					
剣道																																					
水泳																																					
体操																																					

注) 三笠(現掛川北) 菊川(現菊川西) 睦浜(現大浜) が、()内の校名に変更され現在にいたる。

